

国道 225 号
川 辺 改 良

平成 23 年 2 月 18 日
国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 事業の概要	道路-2-1
(1) 国道 225 号の概要	道路-2-1
(2) 国道 225 号川辺改良の概要	道路-2-2
2. 事業の必要性	道路-2-3
(1) 事業を巡る社会情勢の変化	道路-2-3
(2) 事業の効果・必要性	道路-2-9
(3) 事業の投資効果	道路-2-14
(4) 事業の進捗状況	道路-2-15
3. 事業進捗の見込み	道路-2-17
(1) 今後の事業の見通し	道路-2-17
(2) 地域の協力体制	道路-2-17
(3) 環境・景観への取り組み状況	道路-2-18
4. コスト縮減や代替案立案等	道路-2-19
5. 対応方針(原案)	道路-2-20
巻末資料	道路-2-21

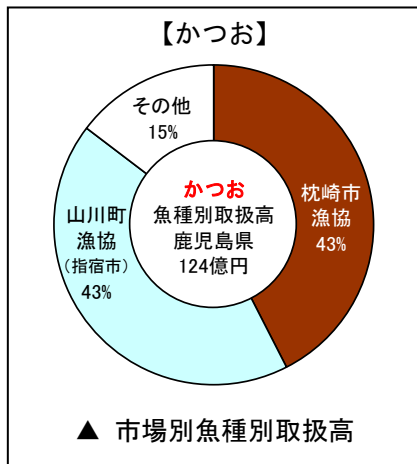
1. 事業の概要

(1) 国道225号の概要

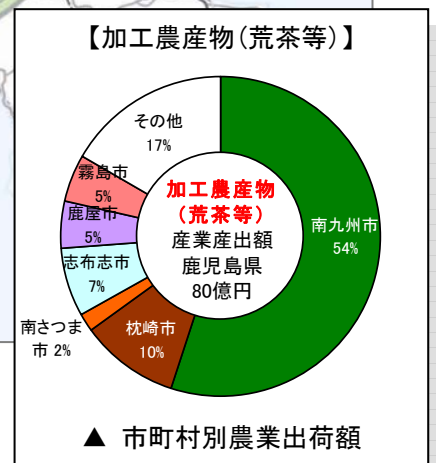
国道225号は、枕崎市を起点として南九州市を經由し、鹿児島市に至る延長53kmの路線で、南薩地域の中央部と県都鹿児島市とを直接結ぶ、唯一の幹線道路として、救急医療活動時の搬送や農産品、水産加工品の輸送、通勤、通学時の通行ルートなどの様々な役割を担っている。

特に南薩地域は、豊かな自然と温暖な気候から、食料基地として南九州市のお茶、枕崎のかつおなど、全国屈指の産出地であり、当該路線の機能強化が地域産業の高付加価値化はもとより交流連携の促進や魅力ある地域づくりに大きな期待がかけられている。

特に国道225号は通称『枕崎かつお街道』とも呼ばれており、農水産品の輸送における役割が大きい路線である。



資料：H21鹿児島県水産物卸売市場年報



資料：第54次鹿児島県農林水産統計年報

(2) 川辺改良の概要

国道 225 号の川辺峠は急峻な地形のため、道路線形は最小曲線半径が 30m、最大縦断勾配が 8.1%と厳しい走行環境にあるとともに、国道 226 号との結節点である影原交差点は、交通渋滞が著しいポイントであった(H21 の供用により渋滞は解消)。

また、事業区間は異常気象時の事前通行規制 (規制基準:連続雨量 200mm 以上)や雨天時の濃霧、冬季の道路凍結によって道路交通に大きな支障をきたしている現状にある他、周辺の道路を含め、災害により深刻な被害を受けた経緯もある。

川辺改良は、異常気象時の事前通行規制区間の解除と山岳道路の急勾配・急カーブの線形改良を行い、平常時の安全で快適な通行はもとより、救急救命のルートを確認し、地域経済や文化の発展を目的として実施するもので、南薩地域の住民生活及び産業等の発展に大きく寄与することが期待されている。

図 川辺改良の概要図

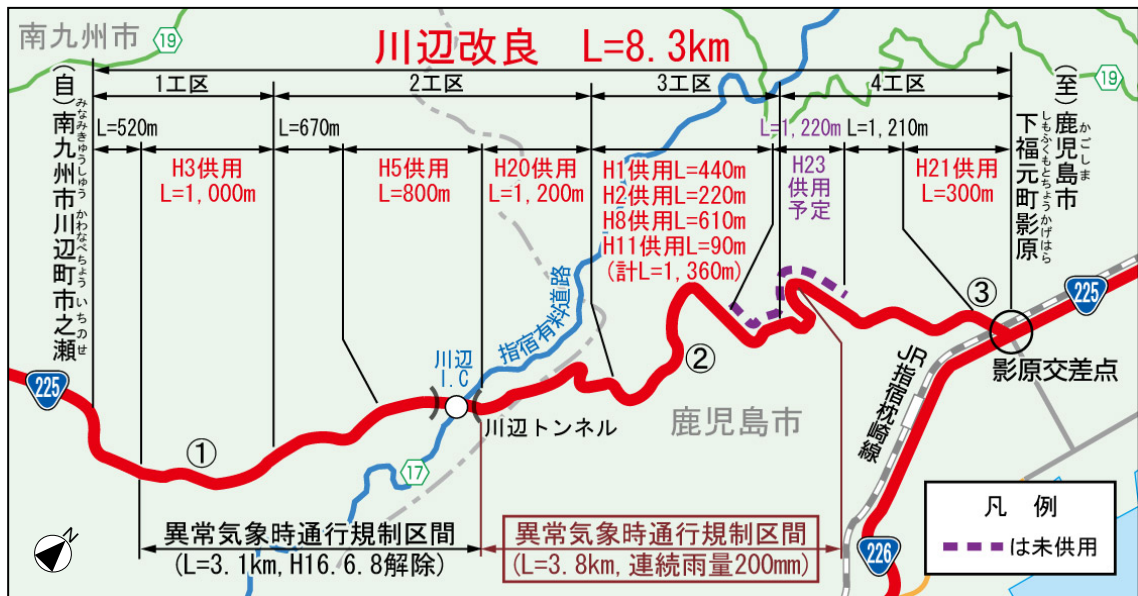
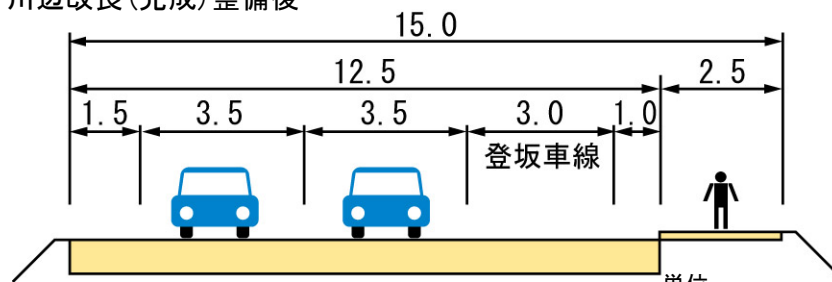


表 道路の諸元

起点	南九州市川辺町市之瀬
終点	鹿児島市下福元町影原
延長	L=8.3km
道路規格	第3種第2級、第3種第3級
設計速度	50km/h
道路幅員	2車線(W=12.0m~15.0m)
計画交通量	①12,200台/日、②10,300台/日、③15,000台/日

■ 川辺改良(完成)整備後



▲ 標準横断図(2車線整備)

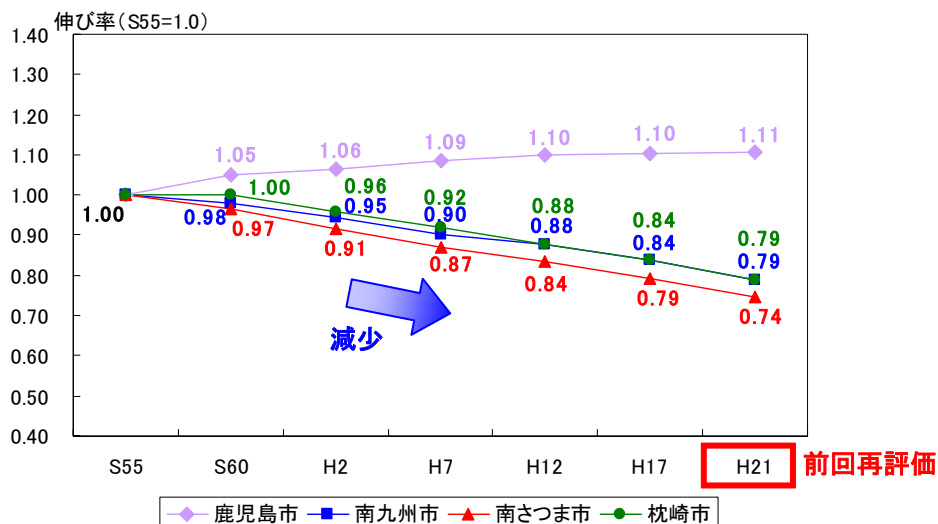
2. 事業の必要性

(1) 事業を巡る社会情勢の変化

1) 人口の動向

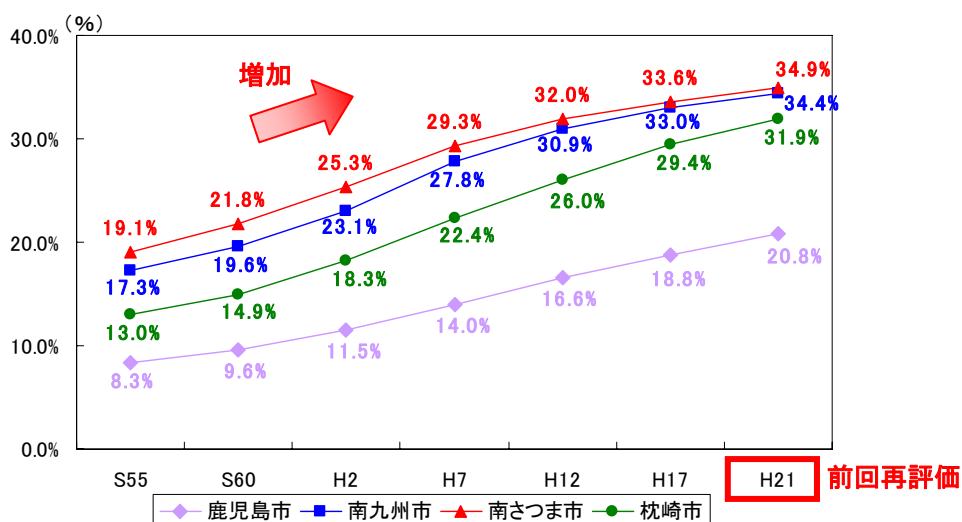
沿線市町の人口は減少と高齢化の進展(鹿児島市は人口の増加傾向)

- 沿線地域の居住人口をみると、鹿児島市のみ増加傾向を示し、その他の地域では減少傾向を示している。
- しかし、増加傾向を示している鹿児島市も近年増加に頭打ちの傾向にある。
- 全ての地域において65歳以上の高齢人口が増加傾向にあり、特に南九州市および南さつま市では高齢人口比率が30%を越えている。



▲ 居住人口の推移

資料：鹿児島県の推計人口



▲ 高齢化率の推移

資料：鹿児島県の推計人口

▼ 居住人口及び65歳以上人口の推移

(単位：人)

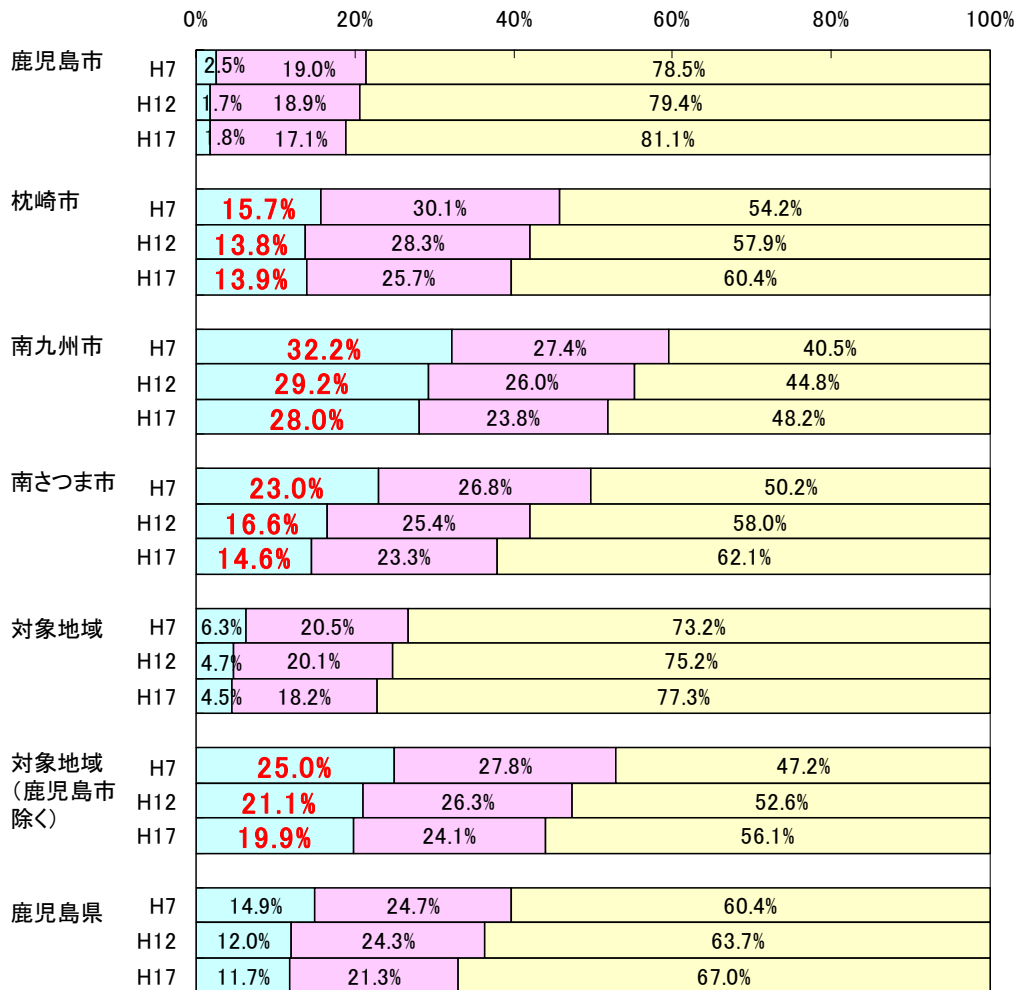
	居住人口							65歳以上							
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21	
鹿児島市	547,756	574,672	582,252	594,430	601,693	604,367	605,424	鹿児島市	45,683	54,962	67,110	82,960	99,597	113,505	125,797
南九州市	50,261	49,189	47,498	45,292	44,137	42,191	39,676	南九州市	8,709	9,636	10,958	12,570	13,652	13,933	13,642
南さつま市	52,604	50,871	48,113	45,845	43,979	41,677	39,183	南さつま市	10,045	11,082	12,195	13,414	14,056	14,015	13,669
枕崎市	30,060	30,099	28,794	27,640	26,317	25,150	23,728	枕崎市	3,913	4,490	5,262	6,185	6,850	7,391	7,559

2) 産業の動向

① 産業別就業人口構成比

鹿児島県内で第1次産業の比率が高い地域

- ・沿線地域の産業別人口の推移をみると、第1次産業人口の減少、第3次産業人口の増加となっており、特に南さつま市で顕著である。
- ・しかし、沿線地域は県下有数の水産品や園芸・茶の産地であり、鹿児島県平均と比べると沿線地域(鹿児島市を除く)で第1次産業人口比率は高くなっている。



□ 1次産業 □ 2次産業 □ 3次産業

資料：国勢調査

▲ 産業別人口構成

▼ 産業別就業人口

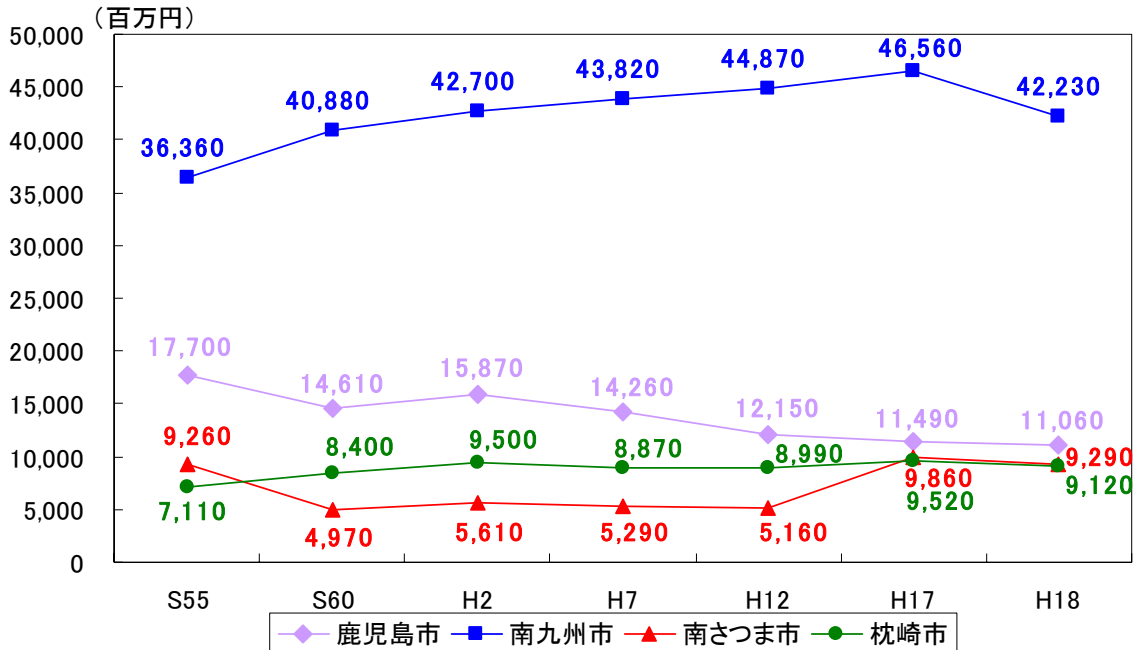
単位：人

		1次産業	2次産業	3次産業
鹿児島市	H7	6,793	52,288	215,414
	H12	4,589	52,290	219,170
	H17	4,856	46,879	222,690
枕崎市	H7	2,024	3,876	6,979
	H12	1,670	3,422	7,004
	H17	1,643	3,040	7,144
南九州市	H7	7,209	6,126	9,060
	H12	6,137	5,465	9,406
	H17	5,644	4,787	9,693
南さつま市	H7	4,733	5,532	10,340
	H12	3,092	4,734	10,813
	H17	2,576	4,124	10,990

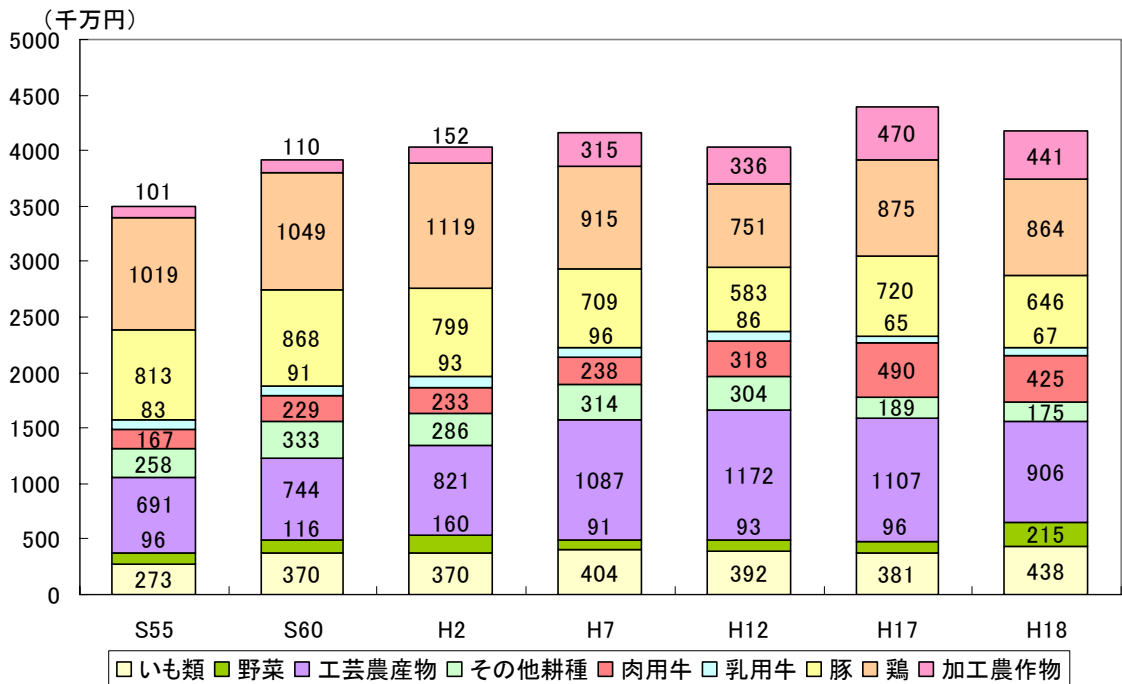
② 農業産出額の推移

南九州市で農業産出額は増加傾向

- ・農業産出額は南九州市、南さつま市で増加傾向を続けており、特に南九州市の出産額が特になっている。
- ・南九州市における農業産出額の内訳をみると、地域の特産物であるお茶などの工芸農作物が多くなっている。



▲ 農業産出額の推移



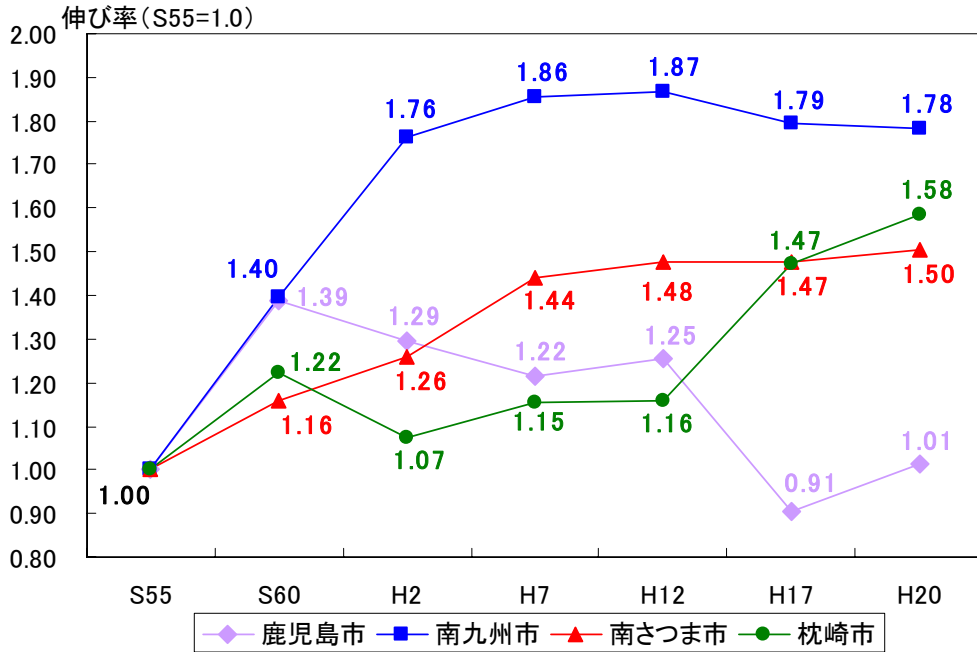
▲ 南九州市における 農業産出額の内訳

※ 工芸農作物:なたね、葉たばこ、生茶、さとうきび、てんさいなど油脂甘味料、繊維、薬などの原料に供する目的で栽培されている植物

③ 製造品出荷額等の推移

製造品出荷額等は枕崎市で増加傾向

- ・ 製造品出荷額等は枕崎市で増加傾向を示し、鹿児島市、南九州市では減少傾向、南さつま市では横ばいとなっている。
- ・ 枕崎市の製造品出荷額等の内訳をみると、飲料・たばこ・飼料製造業が約 50%、食料品製造業が約 46%となっており、焼酎や水産加工品などの産業が活発である。



資料：工業統計

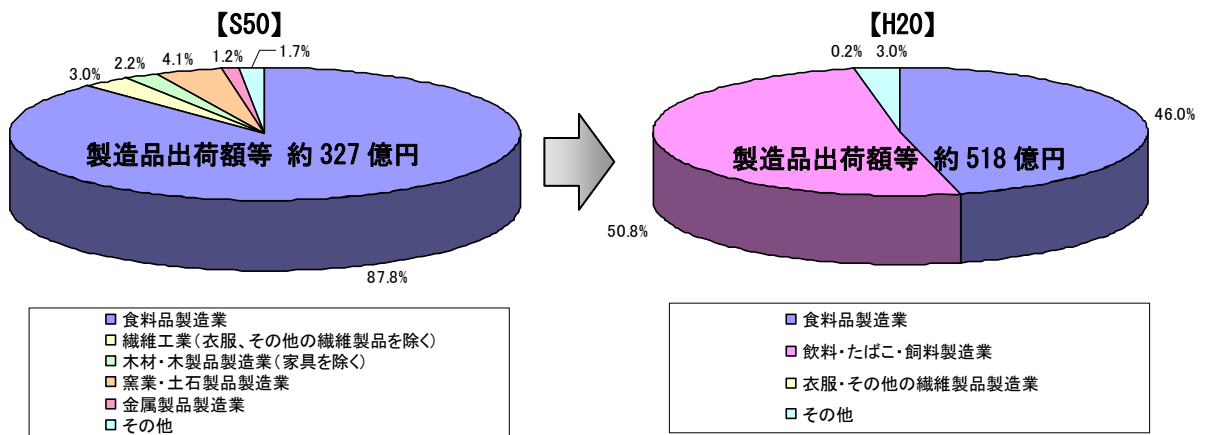
▲ 製造品出荷額等の推移

(単位：百万円)

	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H20
鹿児島市	374,195	519,403	484,562	455,136	468,918	339,184	378,472
南九州市	22,894	31,947	40,306	42,515	42,755	41,093	40,788
南さつま市	23,918	27,733	30,095	34,428	35,327	35,273	35,970
枕崎市	32,739	40,054	35,175	37,805	37,939	48,224	51,890

資料：工業統計

▲ 製造品出荷額等の推移



資料：工業統計

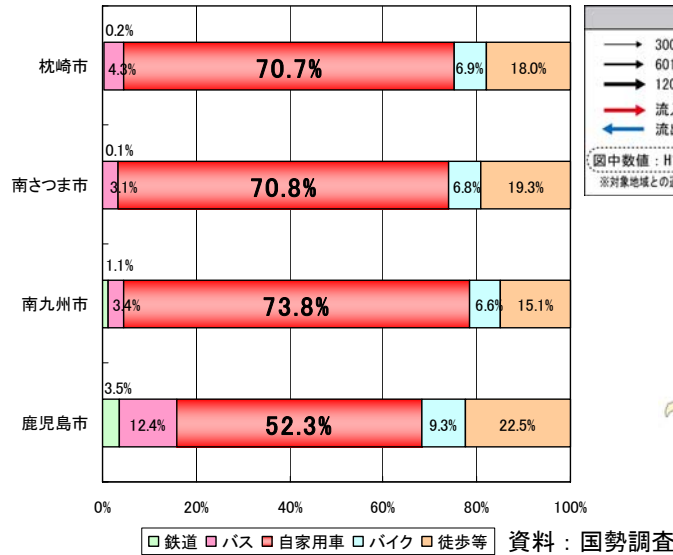
▲ 枕崎市の製造品出荷額等内訳の変化 (S55⇒H20)

3) 交通の動向

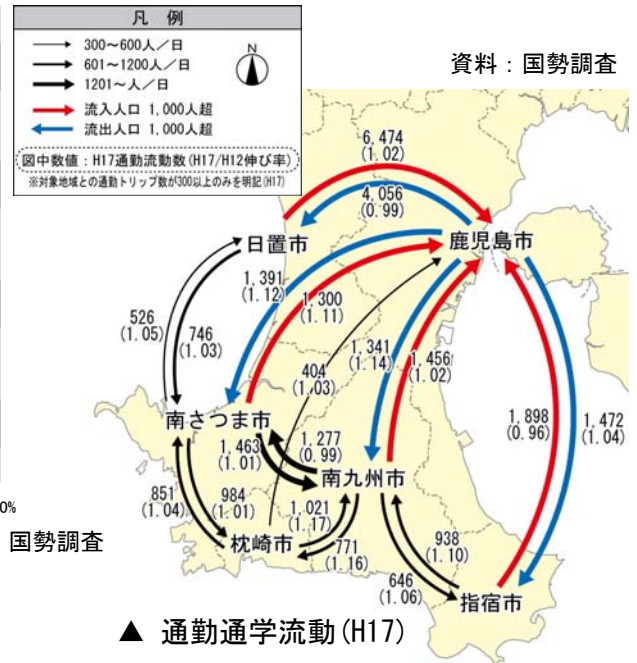
① 地域間流動状況の変化

南薩地域全体の通勤通学流動は鹿児島市との結び付きが強い

- ・通勤通学手段は約6割以上が自家用車となっており、自動車への依存が非常に高くなっている。
- ・南薩地域全体の通勤通学流動は鹿児島市を中心とした流動となっている。



▲ 通勤通学手段 (H12)

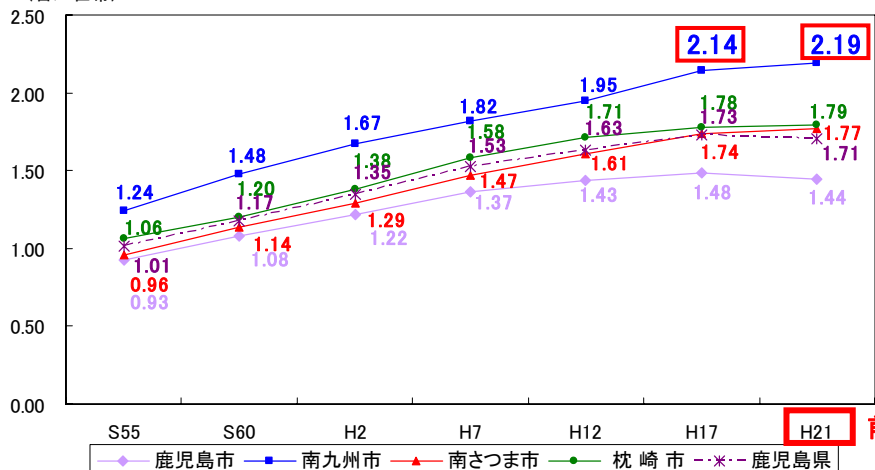


▲ 通勤通学流動 (H17)

② 自動車保有台数の推移

増加を続ける自動車保有台数

- ・沿線地域の自動車保有台数は、人口の減少傾向に反して増加を続けている。
- ・1世帯あたりの自動車保有台数は、南九州市、枕崎市で鹿児島県平均を上回っており、特に南九州市では2台/世帯を越えている。
- ・沿線地域は公共交通サービスの低い地域であるため、今後も自動車交通への依存が高まることが考えられる。(台/世帯)



▲ 1世帯あたり自動車保有台数

資料：自動車保有車両数
軽自動車車両数

▼ 自動車保有台数の推移

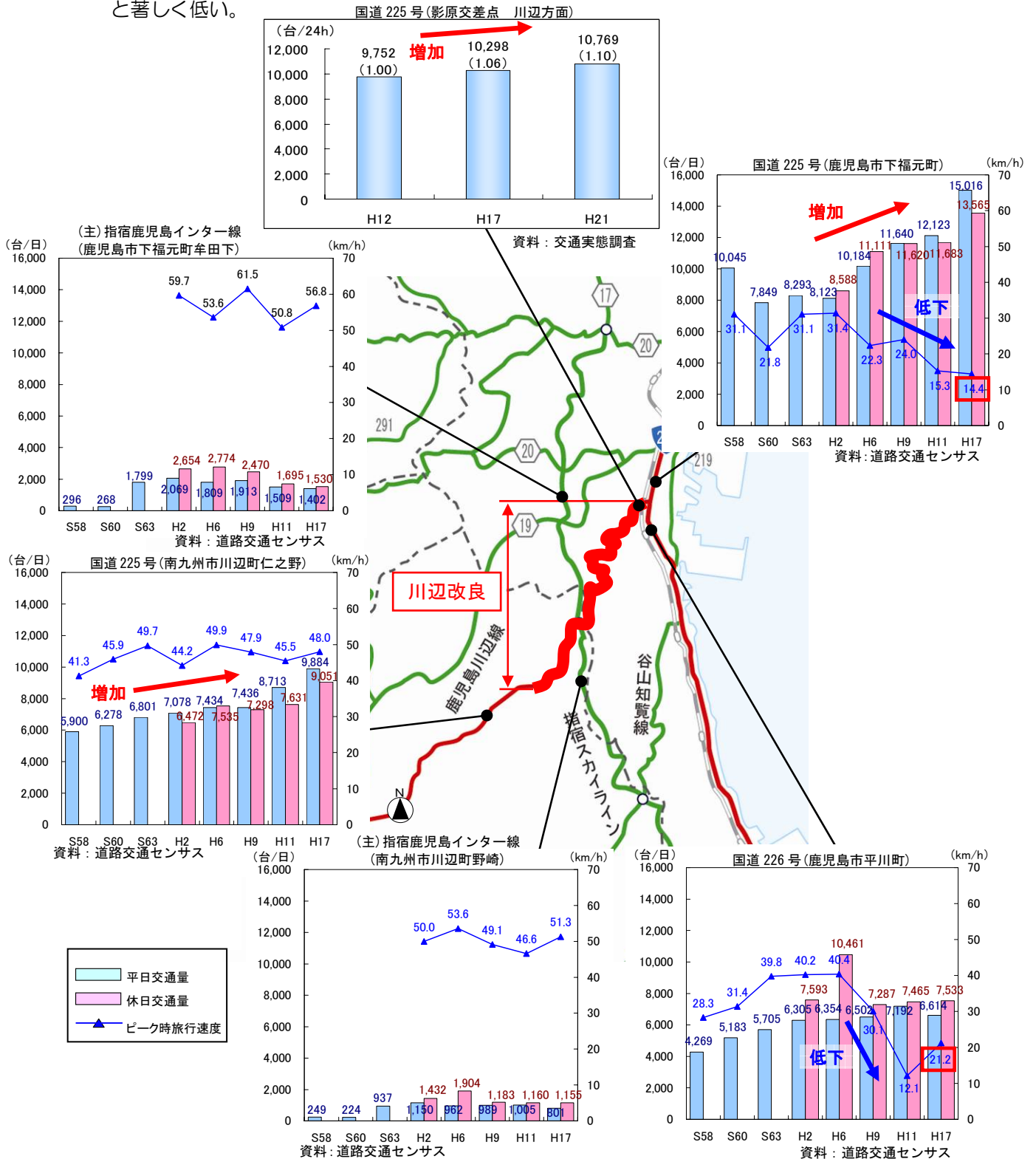
	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H21
鹿児島市	177,213	220,237	263,553	316,889	354,368	378,486	382,046
枕崎市	10,739	12,660	14,636	16,633	18,108	19,033	18,981
南さつま市	17,446	20,892	23,246	26,092	28,225	29,752	29,308
南九州市	20,866	25,273	28,592	31,590	33,600	35,910	36,271
鹿児島県	614,468	752,849	887,656	1,050,592	1,170,554	1,252,377	1,260,856

(単位：台)

③ 交通量の推移

国道 225 号の交通量は増加傾向、休日交通量は平日交通量並み

- ・国道 225 号川辺改良(影原交差点 川辺方面)の平日交通量は増加傾向にあり、平成 21 年には 10,769 台/24h と、平成 12 年の 1.1 倍に増加している。
- ・また、川辺改良の前後区間となる南九州市川辺町仁之野では平成 17 年で 99 百台/日と、平成 11 年に比べ 1.13 倍の伸びとなっている。
- ・休日交通量も全体的に増加傾向を示しており、特に国道 226 号(鹿児島市平川町)や指宿スカイラインは平日交通量よりも休日交通量が多い。
- ・影原交差点前後区間の国道 225 号及び国道 226 号のピーク時旅行速度は 14.4~21.2km/h と著しく低い。



(2) 事業の効果・必要性

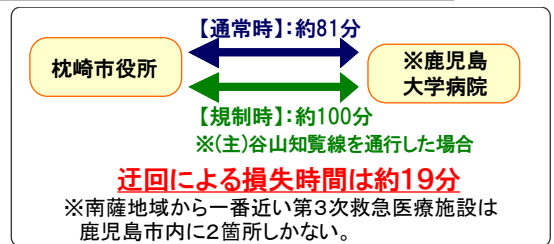
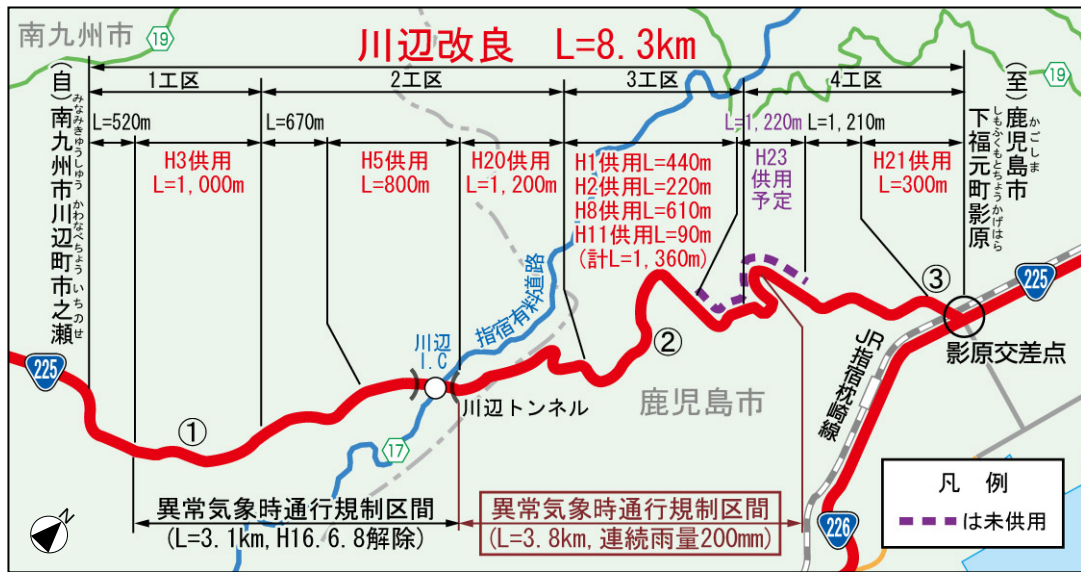
効果①：災害時や事前通行規制による通行止めの解消

川辺改良区間は標高差 300m 以上の急峻な地形であり、約 3.8km(川辺改良区間全体の 46%)が異常気象時通行規制区間(連続雨量 200mm)である。

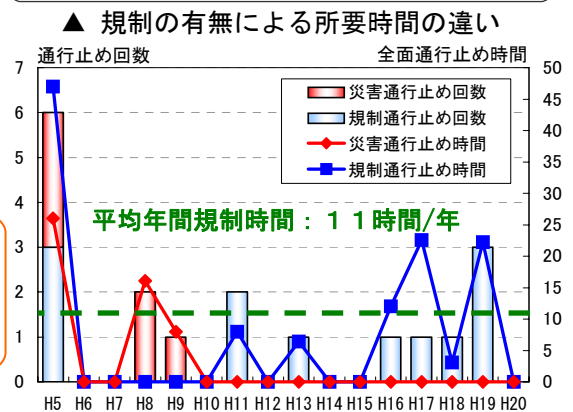
当区間は平成 5 年の台風災害で 26 時間におよび全面通行止めを実施するなど、1 度規制を行うと、長時間の規制となるため多大な影響が発生する地域である((主)谷山知覧線を通行(迂回)した場合約 19 分の損失)。

平成 15 年 4 月に川辺トンネルの供用に伴い、「一般国道 225 号(川辺地区)通行規制区間検討委員会」での検討を経て、平成 16 年 6 月 8 日異常気象時通行規制区間を 6.9km から 3.8km に縮小(3.1km の規制解除)しているが、平成 16 年以降年平均 1 回(10 時間)の規制を行っている。

異常気象時における事前通行規制区間の解除や日常生活をはじめ救急医療活動などに寄与することが期待できることから、川辺改良の早期整備が望まれる。



▲ 事業区間通行規制時の搬送ルート



川辺改良の整備により、全面通行規制(平均時間数：11 時間/年)による迂回交通の損失を解消する便益は、事業全体で※約 0.19 億円、残事業で※約 0.36 億円と試算される。

(※)は供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

●地元の声

[産業の振興]: **大雨が降っている状況では、枕崎を出発する場合、情報を聞きながら走っている。**

その場合、次善の策として指宿方向へ迂回する方策をとっている。
そうすると30分～40分の時間を浪費する。
経済効果となると、花卉と鮮魚は1分1秒を争う鮮度の問題がある。

[地域の安心・安全]: **通行止めになる恐れがあるというのでは、救急医療の面で市民の生命を守ることができないので、せめて通行規制解除はしてほしい。**

:平成5年の台風13号により県下各地で災害を受けたが、国道225号が南薩地域で一番最初に復旧したため、九州電力やNTTが南薩地域に入ることができ復旧に力を発揮した。

国道225号は南薩地域災害復旧の生命線

[37k480付近]



▲災害の様子(国道225号)

[県道 加世田川辺線]



▲河川の氾濫で大きく陥没した県道

[町道(現市道) 永田本別府線]



▲河川の氾濫で跡形もないほどに土砂を削りとられた町道

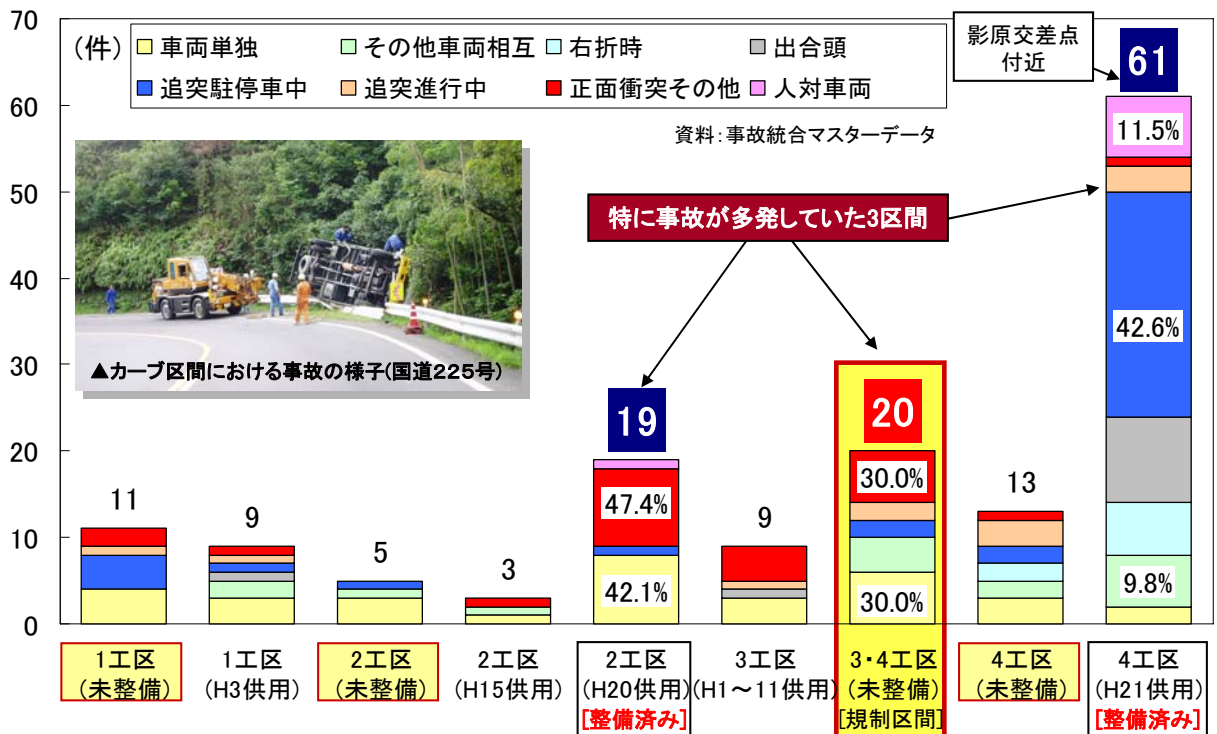
効果②：交通安全性の向上

川辺改良区間の交通事故は、整備済み区間に比べ、未整備区間において交通事故が多発しており、特に影原交差点付近では13年間(H8～H20)で61件発生している。また、カーブが連続する区間でも、多い区間では20件発生している。

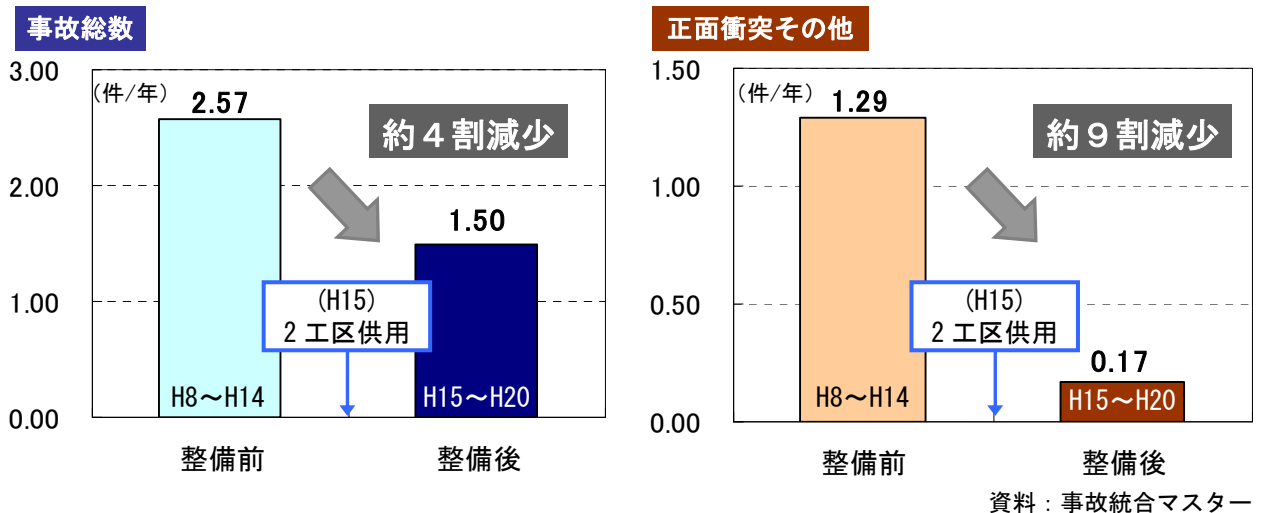
未整備区間の交通事故の内訳をみると、カーブが連続する区間では、死亡事故等重大事故につながる正面衝突の事故が多く、また影原交差点付近では駐停車中の追突や、右折時の事故が多発している。

一方、H15に供用した2工区(川辺トンネルを含む)では、供用前後で正面衝突事故が減少しており、安全性の向上に寄与している。

今後、3・4工区未整備区間の事業を推進することにより、正面衝突等の交通事故が減少し安全性の向上が期待される。



▲ 事業区間における交通事故発生状況 (H8～H20)

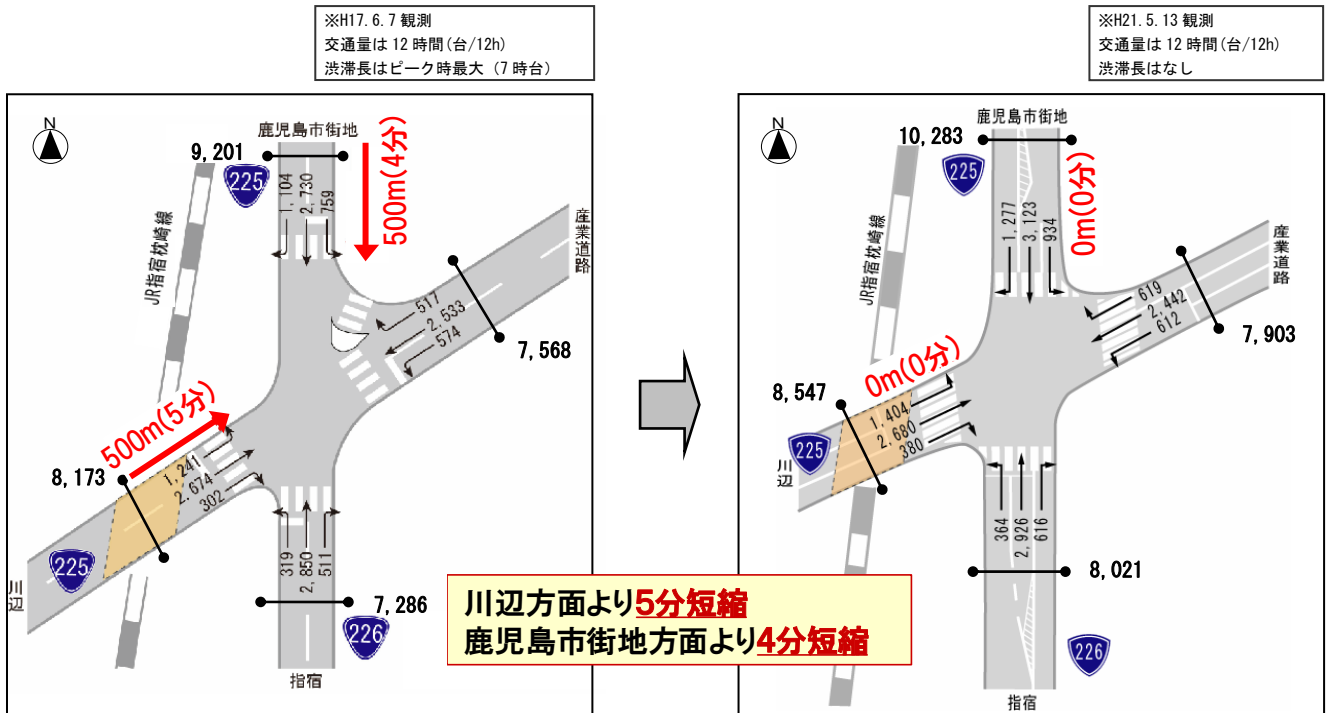


▲ 2工区における整備前後の事故発生状況

効果③：交通混雑の緩和

国道 225 号と国道 226 号が交差する「影原交差点」は、渋滞対策プログラムにおいて渋滞ポイントに位置付けられており、改良前の影原交差点は右折専用車線がなく、鹿児島市街地方面に 500m の渋滞が発生し、また川辺方面にも 500m の渋滞が発生していた。

しかし、平成 21 年 4 月に供用された影原交差点改良(右折付加車線設置)により、影原交差点付近の交通渋滞が解消され、自動車交通の円滑化が図られている。



▲ 12 時間交通量及びピーク時最大渋滞長(改良前)

▲ 12 時間交通量及びピーク時最大渋滞長(改良後)



▲ 影原交差点 改良前



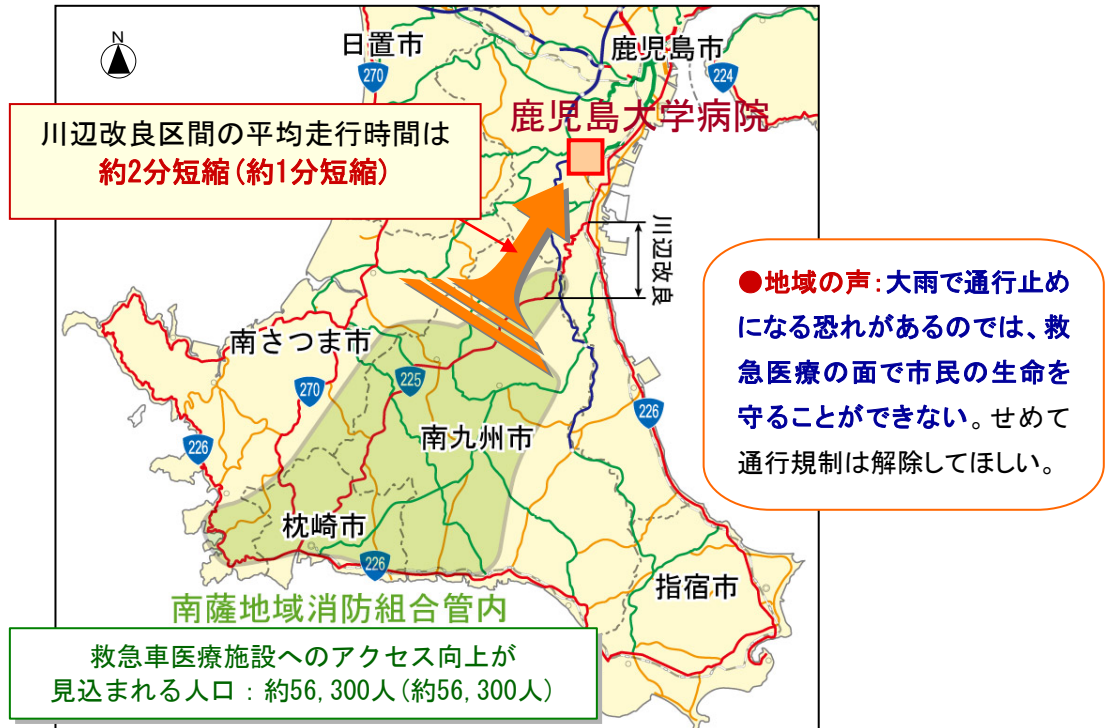
▲ 影原交差点 改良後

効果④：救急医療活動のアクセス向上

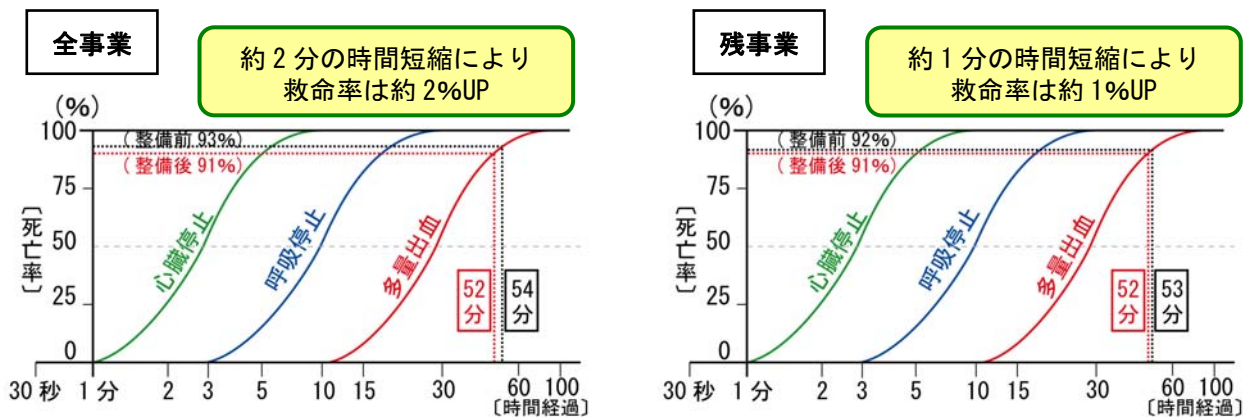
南薩地域においては、重篤な疾病が発生した場合などに、最寄りの第3次救急医療施設である鹿児島大学病院まで搬送を行っている状況にある。

特に南九州市川辺町、知覧町には産婦人科病院が無く、設備の整った鹿児島市内の産婦人科病院に搬送を行っている。

当事業の整備により、南薩地域から鹿児島大学病院までの平均走行時間が約2分短縮されるなど、救急医療施設までのアクセス性が向上し、救急医療活動の円滑化に寄与する。



※ ()は残事業



▲ カーラー曲線(状態別の経過時間と死亡率の関係)

※ 南九州市役所川辺支所～鹿児島大学病院間の所要時間

川辺改良の整備による所要時間短縮により、救急医療活動のアクセス向上便益は、事業全体で[※]約12億円、残事業で[※]約6.6億円と試算される。

(※)は供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

(3) 事業の投資効果

1) 事業の目的

川辺改良は、交通安全性の確保、異常気象時通行規制区間の解消を図るとともに、交通混雑の緩和、地域連携の支援、地域産業の振興などに寄与することを目的とした事業である。

2) 費用便益分析結果【残事業】

①便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成22年度			
供用年	平成24年度			
初年便益（時価）	1.9億円	0.29億円	-0.01億円	2.2億円
基準年における 現在価値（B）	2.5億円	3.1億円	-0.25億円	2.8億円

②費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成22年度		
単純合計	4.1億円	8.6億円	13億円
基準年における 現在価値（C）	4.0億円	3.5億円	7.5億円

③評価指標の算定結果

費用便益分析（CBR）	$B/C = 3.7$
-------------	-------------

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

3) 費用便益分析結果【全事業】

①便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成22年度			
供用年	平成4年度			
初年便益（時価）	2.2億円	0.13億円	-0.03億円	2.3億円
基準年における 現在価値（B）	23.6億円	6.8億円	-4.7億円	23.8億円

②費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基準年	平成22年度		
単純合計	14.0億円	3.2億円	17.3億円
基準年における 現在価値（C）	20.4億円	2.2億円	22.6億円

③評価指標の算定結果

費用便益分析（CBR）	$B/C = 1.1$
-------------	-------------

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

(4) 事業の進捗状況

1) 事業の経緯

昭和 56 年度	事業着手
昭和 59 年度	用地買収着手
昭和 60 年度	工事着手
平成 1 年度	0.4km 供用
平成 2 年度	0.2km 供用
平成 3 年度	1.0km 供用
平成 8 年度	0.6km 供用
平成 11 年度	0.09km 供用(空の橋)
平成 15 年度	0.8km 供用(川辺トンネル・みどりの風橋)
平成 20 年度	1.2km 供用(川辺トンネル付近)
平成 21 年度	0.3km 供用(影原交差点)

2) 事業費の進捗状況

項目	全体事業費	平成 21 年度末進捗	進捗率
事業費	約 146 億円	約 133 億円	約 91%
うち用地補償費	約 6.7 億円	約 6.7 億円	約 99%

3) 前回の評価時との比較

項目		前回評価時(H21)	今回評価時
延長		8.3 km	8.3 km
計画交通量		4,600 台/日 4,600 台/日 9,100 台/日	12,200 台/日 10,300 台/日 15,000 台/日
事業費 (現在価値化後)		約 143 億円 (約 187 億円)	約 146 億円 (約 204 億円)
B/C	残事業	1.2 $\left(= \frac{21 \text{ 億円}}{18 \text{ 億円}} \right)$	3.7 $\left(= \frac{28 \text{ 億円}}{7.5 \text{ 億円}} \right)$
	全事業	1.0 $\left(= \frac{204 \text{ 億円}}{207 \text{ 億円}} \right)$	1.1 $\left(= \frac{238 \text{ 億円}}{226 \text{ 億円}} \right)$

※()書き上段:現在価値化後の便益、下段:現在価値化後のコスト

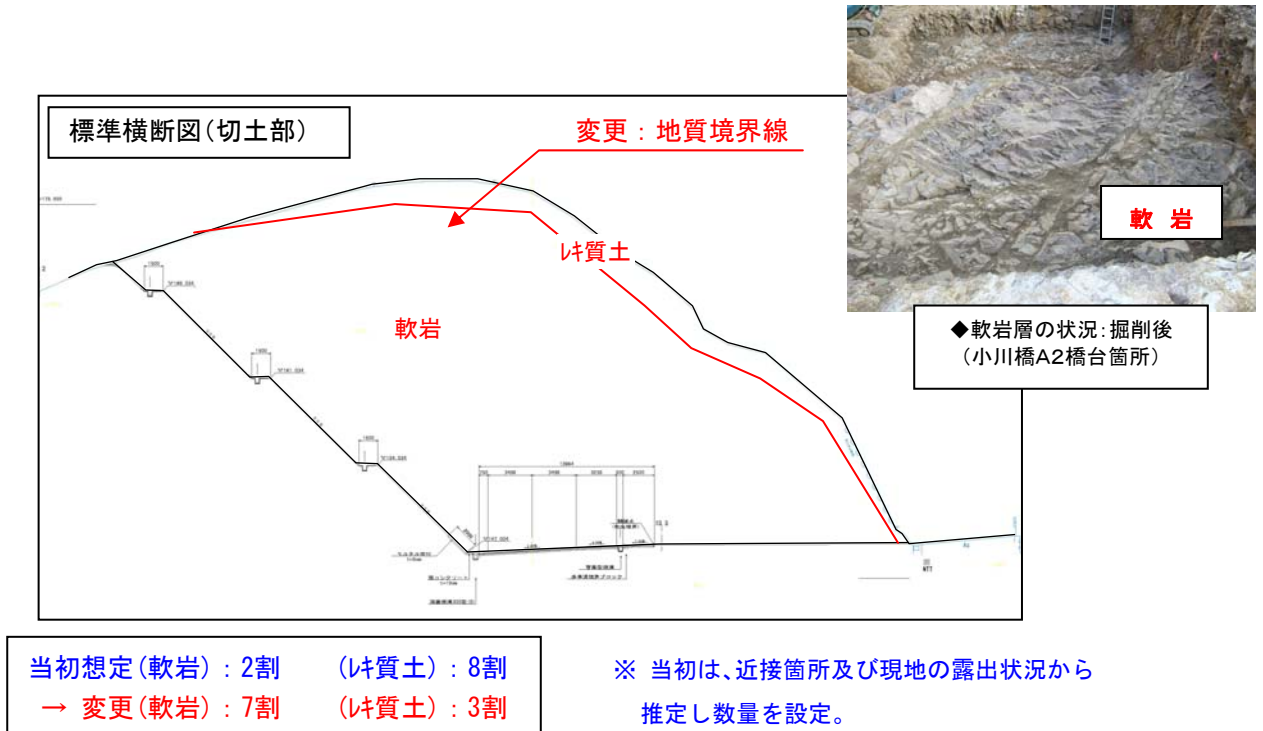
4) 事業費増額の理由

項目	前回評価時(H21)	今回評価時(H22)	理由
事業費	約 143 億円	約 146 億円	○掘削費用の増加(切土土質の変更、掘削土置場の変更) 【+約 2.4 億円】 ○排水の流末処理箇所の変更【+約 0.5 億円】

○ 掘削費用の増加 [+約 2.4 億円]

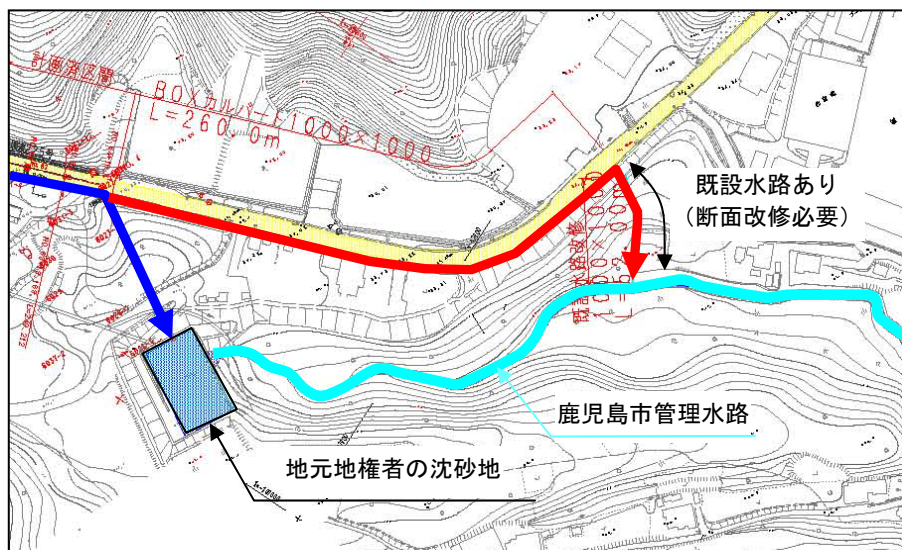
地質調査の結果、切土土質の変更(軟岩 2割→7割)による増加 [+約 1.2 億円]

掘削土置場の変更に伴う運搬距離の増による増加 [+約 1.2 億円]



○ 地元との協議の結果、排水の流末処理箇所の変更により排水施設延長の増による増加

[+約 0.5 億円]



当初：水路（鹿児島市管理）上流部の沈砂地への流末処理を計画（地元地権者了解）
 ↓
 変更：再度協議の結果、将来的に沈砂地を撤去する方向になり、流末排水の再検討の結果、現在の既設水路（断面改修は必要）を利用した流末処理へ変更。

3. 事業進捗の見込み

(1) 今後の事業の見通し

川辺改良の平成21年度末までの事業進捗率は、事業費ベースで約91%であり、引き続き、改良及び橋梁工事を推進していく。

(2) 地域の協力体制

下記の組織において国及び関係機関に対し、積極的な要望活動が実施されている。

また、事業進捗にあたっては、地元や関係機関との協力体制も確立されており、円滑な事業執行が可能である。

年度	期成同盟会等名称	主な構成メンバー	要望内容
H22	川辺地区総合開発期成会 会長：南九州市長	枕崎市、南さつま市、南九州市	国道225号の道路整備促進について 道路整備の財源確保について
H21	川辺地区総合開発期成会 会長：南九州市長	枕崎市、南さつま市、南九州市	国道225号川辺改良の事業継続と整備促進について 国道225号の道路整備促進について 道路整備の財源確保について
	川辺地区総合開発期成会(会長：南九州市長) 南薩縦貫道路建設促進期成会(会長：枕崎市 市長) 鹿児島市 鹿児島市長	南九州市、枕崎市	国道225号川辺改良の事業継続と整備促進について 地域高規格道路「南薩縦貫道路」の整備促進について 国道225号川辺改良の事業継続と整備促進について
H20	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長	枕崎市、南さつま市、南九州市	国道225号の道路整備促進について 道路整備の財源確保について
H19	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長	枕崎市、南さつま市、知覧町、川辺町	国道225号の道路整備促進について
H18	川辺地区市町議会議長会 会長：知覧町議会議長	枕崎市、南さつま市、知覧町、川辺町	国道225号の早期整備に関する要望 国道225号と国道226号との交差点改良に関する要望
	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長 鹿児島県開発促進協議会 会長：鹿児島県議会議長 鹿児島県 鹿児島県知事	枕崎市、南さつま市、知覧町、川辺町	国道225号の道路整備促進について 予算等の措置に関する要望書
H17	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長 鹿児島県開発促進協議会 会長：鹿児島県議会議長 鹿児島県 鹿児島県知事	枕崎市、南さつま市、知覧町、川辺町	国道225号の道路整備促進について 予算等の措置に関する要望書
	川辺地区市町議会議長会 会長：坊津町議会議長	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の早期整備に関する要望 国道225号と国道226号との交差点改良に関する要望
H16	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長 鹿児島県開発促進協議会 会長：鹿児島県議会議長 鹿児島県 鹿児島県知事	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の道路整備促進について 予算等の措置に関する要望書
	川辺地区市町議会議長会 会長：坊津町議会議長	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の早期整備に関する要望 国道225号と国道226号との交差点改良に関する要望
H15	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長 鹿児島県開発促進協議会 会長：鹿児島県議会議長 鹿児島県 鹿児島県知事	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の道路整備促進について 予算等の措置に関する要望書
	川辺地区市町議会議長会 会長：川辺町議会議長	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の早期整備に関する要望 国道225号と国道226号との交差点改良に関する要望
H14	川辺地区総合開発期成会 会長：枕崎市長 川辺地区市町議会議長会 会長：川辺町議会議長	枕崎市、加世田市、知覧町、川辺町、 笠沙町、大浦町、坊津町	国道225号の道路整備促進について 国道225号の早期整備に関する要望 国道225号と国道226号との交差点改良に関する要望

◆協力体制

組織名	業務内容
鹿児島市街路整備課、枕崎市建設課、 南さつま市企画課、南九州市企画課	地元対応及び地域情報窓口

(3) 環境・景観への取り組み状況

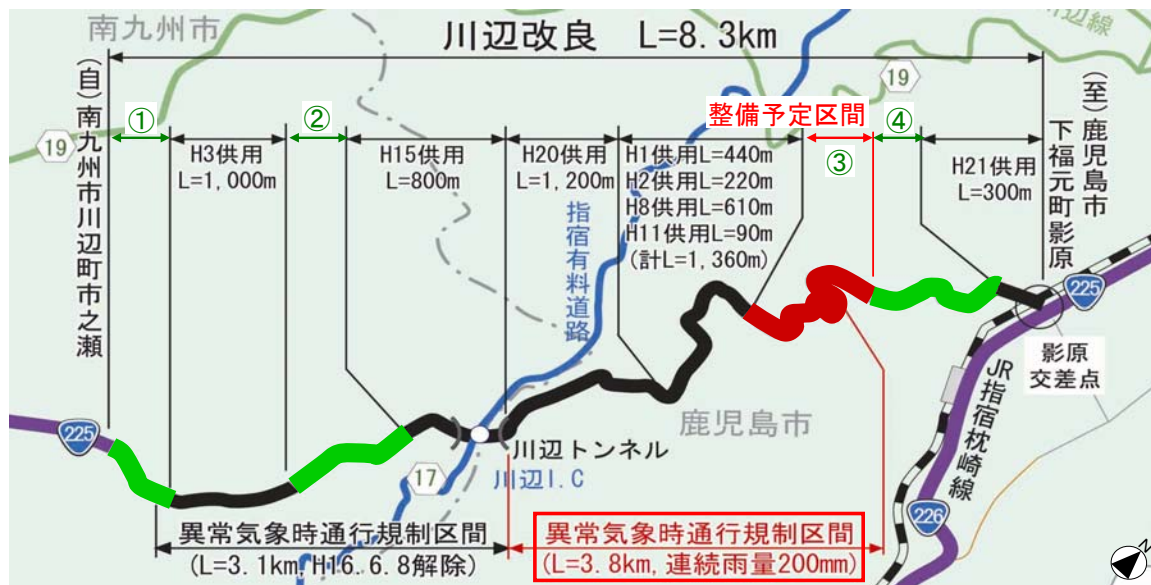
川辺改良の整備にあたっては、景観委員会を設置し、「道路景観形成基本方針」(暫定版)(平成 21 年 2 月)に基づいた景観検討を行い、「周辺環境に調和した道路景観」を景観形成のコンセプトとした景観形成に取り組んでいる。



▲ 橋梁用防護柵・高欄のイメージ

4. コスト縮減や代替案立案等

○ 前年度に、異常気象時通行規制区間の解除を最優先に行うこととし、事業計画を見直した。



コスト縮減内容	区間	評価	縮減額
1. 歩道の見直し	①②④	・現時点においては歩行者数は少なく、歩道未設置箇所については、路肩・残地の利用により歩行空間を確保することで、最低限の交通安全上の対応は可能と考える。	12億円
2. 登坂車線の見直し	②	・現在、整備済みの登坂車線の効果で当該箇所の交通に問題もなく、今後は交通の状況を見ながら対応する。	1億円
3. 道路幅員および橋梁構造形式の見直し	③	・道路幅員の縮小。(車道 3.5m → 3.25m) : 0.5億円 ・橋梁構造の見直し。(2径間→1径間) : 0.5億円	1億円

○ 本ルートには、異常気象時通行規制区間があり、現道の活用には課題があること、地形条件、集落等のコントロールポイント等、利便性・経済性を総合的に勘案し計画し整備を進めており、現在までに8.3kmのうち既に4.7kmが完成している。

○ 今後の事業における事業手法については、現計画が妥当である。

5. 対応方針(原案)

【事業継続】

- ・川辺改良は異常気象時通行規制区間の解除及び交通安全性の確保を図るとともに、交通混雑の緩和が図られ、地域連携の支援による鹿児島市と南薩地域の交流活性化、地域産業の振興などに貢献することが期待されている。
- ・本事業の早期完成を望む声は非常に強く、地元、自治体や期成会などから積極的な整備促進要望がなされている。
- ・事業進捗率は事業費ベースで約91%[約133億円/約146億円](平成21年度末)であり、そのうち用地進捗率は約99%[約6.7億円/約6.7億円]に達しており、引き続き事業の完成を図ることにより、異常気象時通行規制区間の解除、交通安全性の確保、交通混雑の緩和等の効果が期待できることから、当該事業区間の全線完成に向けて事業を継続することとしたい。

卷末資料

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/便台キロ以上である区間が存在する場合には、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/2h以上(当該区間が通学路である場合は500台/2h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の区間において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される <input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路ネットワーク計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震対策緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する(A路線としての位置づけがある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検必要区間所もしくは架橋の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input checked="" type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	<p>緊急輸送道路ネットワーク計画において、第一次緊急輸送道路として位置付け</p> <p>防災点検必要区間所：1箇所</p> <p>異常気象時事前通行規制区間(L=3.8km,連続雨量200mm)の解消</p>
4. 環境	地球環境の保全	<input type="checkbox"/> 距離1km以内で到達できる地区が新たに増加する <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
	生活環境の改善・保全	<input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率	<p>CO2排出削減量：約563 t-CO2/年(未整備：約538.2 t-CO2/年→整備：約537.8 t-CO2/年)</p> <p>PM10削減量：約25t/年(現道)；国道225号 排出削減率：約-5.8 t/年、排出削減率：約-33%削減</p> <p>PM10削減量：約0.6 t/年、排出削減率：約-33%削減</p>
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間基準値を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固着の事情等、以上の項目に属さない別項が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
国道225号	川辺改良	8.3km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
10,300~15,000	2	九州地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	140億円	32億円	173億円
うち残事業分	4.1億円	8.6億円	13億円
基準年における 現在価値 (C)	204億円	22億円	226億円
うち残事業分	4.0億円	3.5億円	7.5億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成4年度			
単年便益 (初年便益)	2.2億円	0.13億円	-0.03億円	2.3億円
基準年における 現在価値 (B)	236億円	6.8億円	-4.7億円	238億円
うち残事業分	25億円	3.1億円	-0.25億円	28億円

③ 結 果

費用便益比（事業全体）	1.1
経済的純現在価値（事業全体）	12 億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.4%
費用便益比（残事業）	3.7
経済的純現在価値（残事業）	20 億円
経済的内部収益率（残事業）	47%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	10,300	±10%	2.5~4.9
事業費	4.1億円	±10%	3.5~3.9
事業期間	1年	±20%	3.4~3.7

交通状況の変化

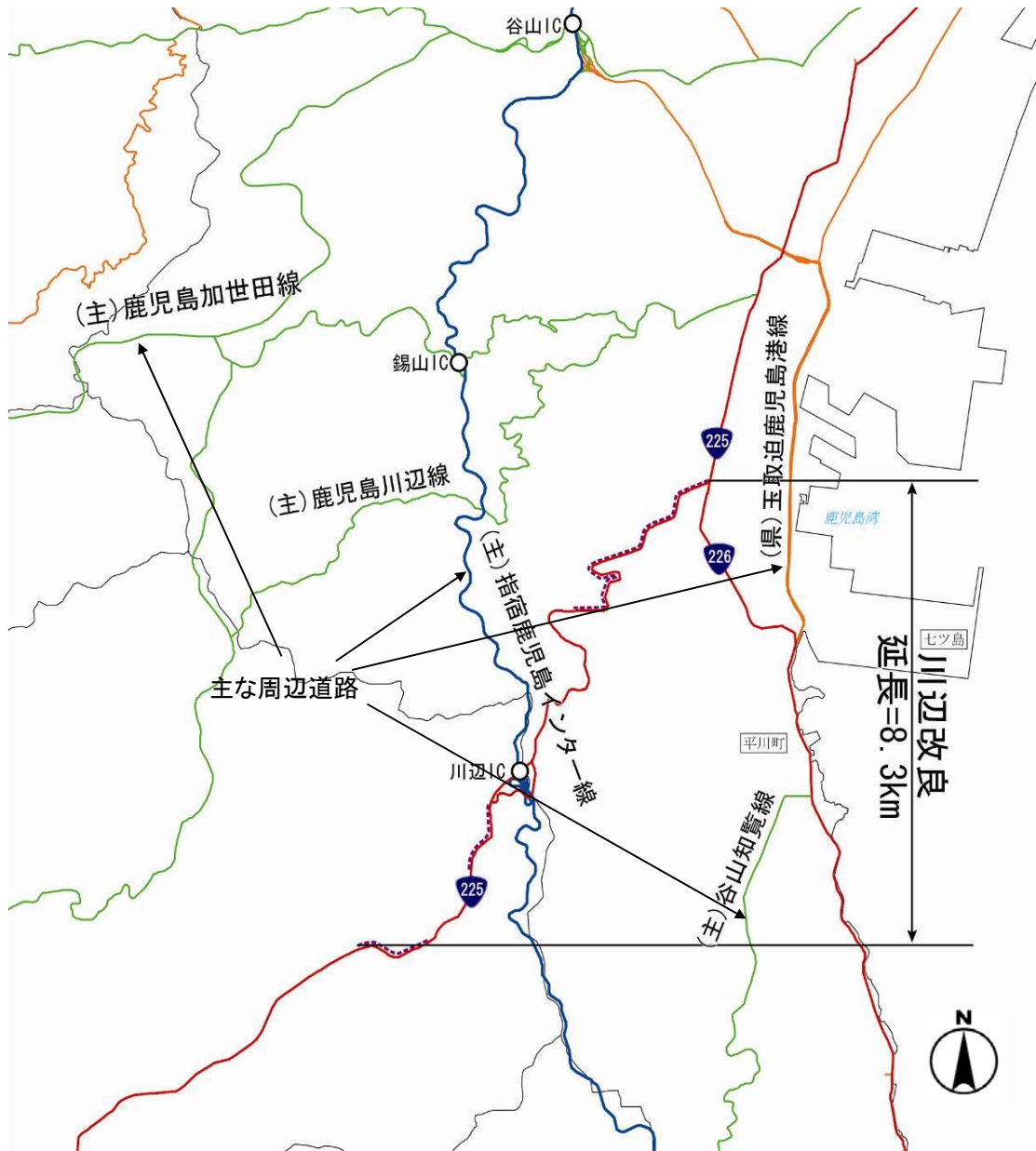
様式-3①

事業名： 国道225号 川辺改良

(推計時点 H42年) (事業全体)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [川辺改良] : 8.3km	交通量	[台/日]	7,700	11,000	
	走行時間	[分]	13	11	
	走行時間費用	[億円/年]	17	21	
②主な周 辺道路	主_指宿 鹿児島イ ンター線 : 10.5km	交通量	[台/日]	4,700	2,000
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	11	4.5
	主_谷山 知覧線 : 6.3km	交通量	[台/日]	1,600	900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	3.2	1.8
	主_鹿児 島加世田 線 : 8.0km	交通量	[台/日]	7,000	6,600
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	12	12
	県_玉取 迫鹿児島 港線 : 6.0km	交通量	[台/日]	25,900	27,500
		走行時間	[分]	9.5	8.6
		走行時間費用	[億円/年]	38	37
③その他道路合計 573.6km	走行時間費用	[億円/年]	2,231	2,230	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 612.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,312	2,307	5.7

事業名： 国道225号 川辺改良



交通状況の変化

様式-3①

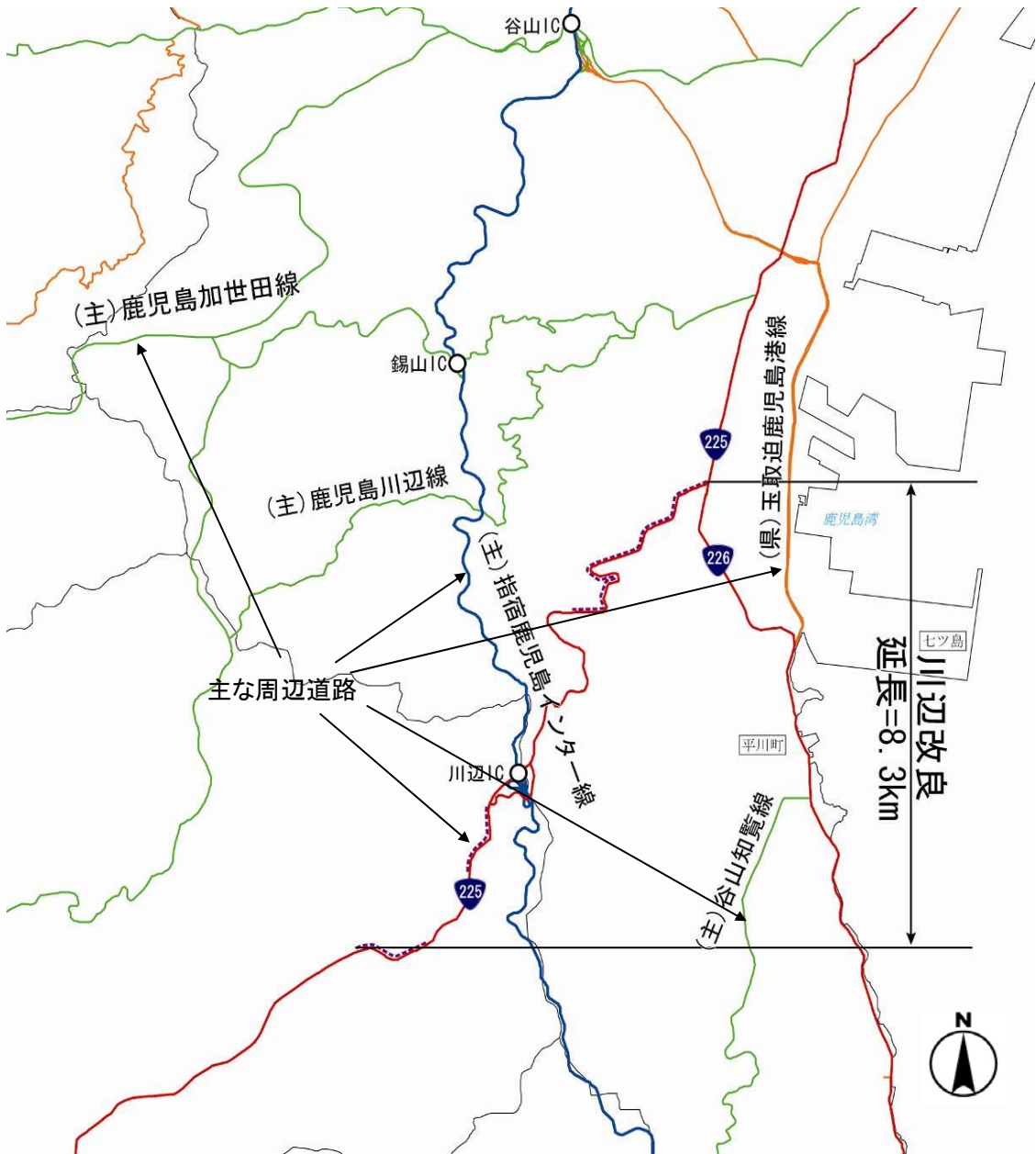
事業名： 国道225号 川辺改良

(推計時点 H42年) (残事業)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [川辺改良] : 1.2km	交通量	[台/日]	7,700	10,300	
	走行時間	[分]	2.1	1.5	
	走行時間費用	[億円/年]	2.9	2.7	
②主な周 辺道路	現道(国 道225号 川辺改 良) : 7.1km	交通量	[台/日]	9,200	11,100
		走行時間	[分]	9.4	9.5
		走行時間費用	[億円/年]	15	19
	主_指宿 鹿児島イ ンター線 : 10.5km	交通量	[台/日]	4,400	2,000
		走行時間	[分]	13	13
		走行時間費用	[億円/年]	9.9	4.5
	主_谷山 知覧線 : 6.3km	交通量	[台/日]	1,300	900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	2.5	1.8
	主_鹿児 島加世田 線 : 8.0km	交通量	[台/日]	6,600	6,600
		走行時間	[分]	10	10
		走行時間費用	[億円/年]	12	12
	県_玉取 迫鹿児島 港線 : 6.0km	交通量	[台/日]	25,900	27,500
		走行時間	[分]	8.6	8.6
		走行時間費用	[億円/年]	35	37
③その他道路合計 573.6km	走行時間費用	[億円/年]	2,230	2,230	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 612.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,307	2,307	0.37

事業名： 国道225号 川辺改良



費用便益分析の条件

事業名：国道225号 川辺改良

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成22年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input type="checkbox"/>
	複数時点での推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H17,H42)
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数	() %
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>		
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載				
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名：国道225号 川辺改良

(4)

		項目	チェック欄
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input checked="" type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
		その他(<input type="checkbox"/>
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間：H19～H21)に基づく	
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>
	その他		
4. その他			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道225号 川辺改良(事業全体)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.15	5.9	0.89

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-11年目	S 56	3.1187	88.6	0.26	0.84		
-10年目	S 57	2.9987	89.6	0.40	1.2		
-9年目	S 58	2.8834	90.5	0.30	0.87		
-8年目	S 59	2.7725	92.3	0.80	2.2		
-7年目	S 60	2.6658	93.0	2.2	5.6		
-6年目	S 61	2.5633	94.6	1.8	4.5		
-5年目	S 62	2.4647	94.4	3.7	8.8		
-4年目	S 63	2.3699	94.9	3.8	8.7		
-3年目	H 1	2.2788	97.4	4.6	9.8		
-2年目	H 2	2.1911	99.6	3.9	7.8		
-1年目	H 3	2.1068	102.0	2.6	4.9		
供用開始年次	H 4	2.0258	103.4	3.1	5.5	0.14	0.25
1年目	H 5	1.9479	103.7	3.6	6.2	0.14	0.24
2年目	H 6	1.8730	103.6	1.4	2.2	0.14	0.23
3年目	H 7	1.8009	103.0	2.6	4.2	0.14	0.22
4年目	H 8	1.7317	102.4	1.4	2.1	0.14	0.22
5年目	H 9	1.6651	103.4	1.4	2.1	0.14	0.21
6年目	H 10	1.6010	102.8	5.3	7.5	0.14	0.20
7年目	H 11	1.5395	101.3	4.3	6.0	0.14	0.19
8年目	H 12	1.4802	99.7	33	44	0.34	0.46
9年目	H 13	1.4233	98.4	15	20	0.34	0.45
10年目	H 14	1.3686	96.6	4.2	5.4	0.34	0.44
11年目	H 15	1.3159	95.4	3.0	3.7	0.34	0.43
12年目	H 16	1.2653	94.4	2.1	2.6	0.49	0.59
13年目	H 17	1.2167	93.2	4.9	5.8	0.49	0.58
14年目	H 18	1.1699	92.5	2.7	3.1	0.49	0.56
15年目	H 19	1.1249	91.7	11	12	0.49	0.54
16年目	H 20	1.0816	91.3	3.8	4.1	0.49	0.52
17年目	H 21	1.0400	91.3	1.8	1.9	0.67	0.69
18年目	H 22	1.0000	91.3	8.3	8.3	0.67	0.67
19年目	H 23	0.9615	91.3	4.1	4.0	0.67	0.64
20年目	H 24	0.9246	91.3			0.84	0.77
21年目	H 25	0.8890	91.3			0.84	0.74
22年目	H 26	0.8548	91.3			0.84	0.72
23年目	H 27	0.8219	91.3			0.84	0.69
24年目	H 28	0.7903	91.3			0.84	0.66
25年目	H 29	0.7599	91.3			0.84	0.64
26年目	H 30	0.7307	91.3			0.84	0.61
27年目	H 31	0.7026	91.3			0.84	0.59
28年目	H 32	0.6756	91.3			0.84	0.56
29年目	H 33	0.6496	91.3			0.84	0.54
30年目	H 34	0.6246	91.3			0.84	0.52
31年目	H 35	0.6006	91.3			0.84	0.50
32年目	H 36	0.5775	91.3			0.84	0.48
33年目	H 37	0.5553	91.3			0.84	0.46
34年目	H 38	0.5339	91.3			0.84	0.45
35年目	H 39	0.5134	91.3			0.84	0.43
36年目	H 40	0.4936	91.3			0.84	0.41
37年目	H 41	0.4746	91.3			0.84	0.40
38年目	H 42	0.4564	91.3			0.84	0.38
39年目	H 43	0.4388	91.3			0.84	0.36
40年目	H 44	0.4220	91.3			0.84	0.35
41年目	H 45	0.4057	91.3			0.84	0.34
42年目	H 46	0.3901	91.3			0.84	0.32
43年目	H 47	0.3751	91.3			0.84	0.31
44年目	H 48	0.3607	91.3			0.84	0.30
45年目	H 49	0.3468	91.3			0.84	0.29
46年目	H 50	0.3335	91.3			0.84	0.28
47年目	H 51	0.3207	91.3			0.84	0.27
48年目	H 52	0.3083	91.3			0.84	0.25
49年目	H 53	0.2965	91.3	-6.0	-1.8	0.84	0.24
合計				134	204	32	22
単純事業費計				140		32	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 国道225号 川辺改良(残事業)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.15	1.2	0.18

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-3年目	H 22	1.0000	91.3				
-2年目	H 23	0.9615	91.3	4.1	4.0		
供用開始年次	H 24	0.9246	91.3			0.17	0.16
1年目	H 25	0.8890	91.3			0.17	0.15
2年目	H 26	0.8548	91.3			0.17	0.15
3年目	H 27	0.8219	91.3			0.17	0.14
4年目	H 28	0.7903	91.3			0.17	0.14
5年目	H 29	0.7599	91.3			0.17	0.13
6年目	H 30	0.7307	91.3			0.17	0.13
7年目	H 31	0.7026	91.3			0.17	0.12
8年目	H 32	0.6756	91.3			0.17	0.12
9年目	H 33	0.6496	91.3			0.17	0.11
10年目	H 34	0.6246	91.3			0.17	0.11
11年目	H 35	0.6006	91.3			0.17	0.10
12年目	H 36	0.5775	91.3			0.17	0.10
13年目	H 37	0.5553	91.3			0.17	0.10
14年目	H 38	0.5339	91.3			0.17	0.09
15年目	H 39	0.5134	91.3			0.17	0.09
16年目	H 40	0.4936	91.3			0.17	0.08
17年目	H 41	0.4746	91.3			0.17	0.08
18年目	H 42	0.4564	91.3			0.17	0.08
19年目	H 43	0.4388	91.3			0.17	0.08
20年目	H 44	0.4220	91.3			0.17	0.07
21年目	H 45	0.4057	91.3			0.17	0.07
22年目	H 46	0.3901	91.3			0.17	0.07
23年目	H 47	0.3751	91.3			0.17	0.06
24年目	H 48	0.3607	91.3			0.17	0.06
25年目	H 49	0.3468	91.3			0.17	0.06
26年目	H 50	0.3335	91.3			0.17	0.06
27年目	H 51	0.3207	91.3			0.17	0.05
28年目	H 52	0.3083	91.3			0.17	0.05
29年目	H 53	0.2965	91.3			0.17	0.05
30年目	H 54	0.2851	91.3			0.17	0.05
31年目	H 55	0.2741	91.3			0.17	0.05
32年目	H 56	0.2636	91.3			0.17	0.05
33年目	H 57	0.2534	91.3			0.17	0.04
34年目	H 58	0.2437	91.3			0.17	0.04
35年目	H 59	0.2343	91.3			0.17	0.04
36年目	H 60	0.2253	91.3			0.17	0.04
37年目	H 61	0.2166	91.3			0.17	0.04
38年目	H 62	0.2083	91.3			0.17	0.04
39年目	H 63	0.2003	91.3			0.17	0.03
40年目	H 64	0.1926	91.3			0.17	0.03
41年目	H 65	0.1852	91.3			0.17	0.03
42年目	H 66	0.1780	91.3			0.17	0.03
43年目	H 67	0.1712	91.3			0.17	0.03
44年目	H 68	0.1646	91.3			0.17	0.03
45年目	H 69	0.1583	91.3			0.17	0.03
46年目	H 70	0.1522	91.3			0.17	0.03
47年目	H 71	0.1463	91.3			0.17	0.03
48年目	H 72	0.1407	91.3			0.17	0.02
49年目	H 73	0.1353	91.3	0.00	0.00	0.17	0.02
合計				4.1	4.0	8.6	3.5
単純事業費計				4.1		8.6	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道225号 川辺改良(事業全体)

年次 (年度)	H22 (年度)	総走行台数の年次別伸び率 (南九州ブロック)			GDP デフレータ	割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)			走行経費減少便益(億円)			事故減少便益(億円)			合計 (億円)								
		乗用車	小型貨物	普通貨物			乗用車	小型貨物	普通貨物	乗用車	小型貨物	普通貨物	乗用車	小型貨物	普通貨物	乗用車	小型貨物	普通貨物	現在価値 (1)×(A)	現在価値 (2)計	現在価値 (A)×(2)	現在価値 (3)×(A)	便益合計 (1)~(3)	割引率%
1年目	H 4	1.06226	1.02563	1.04630	103.4	20.958	1.1	0.67	0.44	2.2	4.0	0.04	0.02	0.06	0.13	0.23	-0.03	-0.06	2.3	4.2	2.3	4.2	4.2	4.2
2年目	H 5	1.05661	1.02499	1.04425	103.7	19.479	1.2	0.69	0.45	2.3	4.0	0.05	0.02	0.06	0.13	0.23	-0.03	-0.06	2.4	4.2	2.4	4.2	4.2	4.2
3年目	H 6	1.05008	0.98930	1.02460	103.6	18.730	1.3	0.71	0.46	2.4	4.0	0.05	0.02	0.07	0.14	0.23	-0.03	-0.06	2.5	4.2	2.5	4.2	4.1	4.1
4年目	H 7	1.04769	0.98918	1.02401	103.0	18.009	1.3	0.70	0.46	2.5	4.0	0.05	0.02	0.06	0.14	0.22	-0.04	-0.06	2.6	4.1	2.6	4.1	4.1	4.1
5年目	H 8	1.04652	0.98907	1.02345	102.4	17.317	1.4	0.69	0.46	2.5	3.9	0.05	0.02	0.06	0.14	0.22	-0.04	-0.06	2.6	4.1	2.6	4.1	4.1	4.1
6年目	H 9	1.04354	0.98895	1.02291	102.8	16.651	1.5	0.68	0.45	2.6	3.8	0.06	0.02	0.06	0.14	0.21	-0.04	-0.06	2.7	4.0	2.7	4.0	4.0	4.0
7年目	H 10	1.04172	0.98882	1.02240	102.8	16.010	1.5	0.68	0.44	2.6	3.8	0.06	0.02	0.06	0.14	0.20	-0.04	-0.05	2.8	3.9	2.8	3.9	3.9	3.9
8年目	H 11	1.02381	0.98233	1.01269	101.3	15.395	1.6	0.67	0.44	2.7	3.7	0.06	0.02	0.06	0.14	0.20	-0.04	-0.05	2.8	3.8	2.8	3.8	3.8	3.8
9年目	H 12	1.02326	0.99227	1.01253	99.7	14.802	2.4	0.66	0.59	3.7	5.0	0.59	0.19	0.26	1.0	1.4	0.06	0.09	4.8	6.5	4.8	6.5	6.5	6.5
10年目	H 13	1.02273	0.99221	1.01238	98.4	14.233	2.5	0.66	0.58	3.7	4.9	0.60	0.19	0.26	1.0	1.4	0.07	0.09	4.8	6.4	4.8	6.4	6.4	6.4
11年目	H 14	1.02223	0.99215	1.01223	96.6	13.886	2.5	0.65	0.58	3.8	4.9	0.62	0.19	0.26	1.1	1.4	0.07	0.09	4.9	6.3	4.9	6.3	6.3	6.3
12年目	H 15	1.02174	0.99209	1.01208	95.4	13.159	2.6	0.65	0.57	3.8	4.8	0.63	0.19	0.25	1.1	1.3	0.07	0.08	4.9	6.2	4.9	6.2	6.2	6.2
13年目	H 16	1.02128	0.99202	1.01193	94.4	12.653	3.9	1.0	0.76	5.7	7.0	0.64	0.19	0.26	1.1	1.3	0.00	0.00	6.8	8.3	6.8	8.3	8.3	8.3
14年目	H 17	1.019579	0.99028	0.98953	93.2	12.167	4.0	0.99	0.75	5.8	6.9	0.65	0.19	0.26	1.1	1.3	0.00	0.00	6.9	8.2	6.9	8.2	8.2	8.2
15年目	H 18	0.99577	0.99018	0.98942	92.5	11.699	4.0	0.99	0.75	5.7	6.6	0.65	0.19	0.26	1.1	1.3	0.00	0.00	6.8	8.0	6.8	8.0	8.0	8.0
16年目	H 19	0.99575	0.99009	0.98931	91.7	11.249	4.0	0.98	0.74	5.7	6.4	0.65	0.19	0.25	1.1	1.2	0.00	0.00	6.8	7.6	6.8	7.6	7.6	7.6
17年目	H 20	0.99573	0.98999	0.98938	91.3	10.816	3.9	0.97	0.73	5.6	6.1	0.64	0.18	0.25	1.1	1.2	0.00	0.00	6.7	7.3	6.7	7.3	7.3	7.3
18年目	H 21	0.99571	0.98989	0.98907	91.3	10.400	5.1	1.2	1.4	7.7	8.0	-0.54	-0.10	0.07	-0.57	-0.59	-0.26	-0.27	6.9	7.2	6.9	7.2	7.2	7.2
19年目	H 22	0.99569	0.98978	0.98895	91.3	10.000	5.1	1.2	1.4	7.7	7.7	-0.53	-0.10	0.07	-0.57	-0.57	-0.26	-0.26	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9	6.9
20年目	H 23	0.99568	0.98968	0.98883	91.3	9.615	5.1	1.2	1.4	7.6	7.3	-0.53	-0.10	0.07	-0.56	-0.54	-0.26	-0.25	6.8	6.5	6.8	6.5	6.5	6.5
21年目	H 24	0.99566	0.98957	0.98870	91.3	9.246	6.0	1.5	1.5	9.0	8.3	-0.45	-0.08	0.05	-0.48	-0.44	-0.33	-0.31	8.2	7.6	8.2	7.6	7.6	7.6
22年目	H 25	0.99564	0.98946	0.98857	91.3	8.890	5.9	1.5	1.5	9.0	8.0	-0.45	-0.08	0.05	-0.48	-0.42	-0.33	-0.29	8.2	7.3	8.2	7.3	7.3	7.3
23年目	H 26	0.99562	0.98935	0.98844	91.3	8.548	5.9	1.5	1.5	8.9	7.6	-0.44	-0.08	0.05	-0.47	-0.41	-0.33	-0.28	8.1	6.9	8.1	6.9	6.9	6.9
24年目	H 27	0.99560	0.98923	0.98830	91.3	8.219	5.9	1.5	1.5	8.8	7.3	-0.44	-0.08	0.05	-0.47	-0.39	-0.32	-0.27	8.0	6.6	8.0	6.6	6.6	6.6
25年目	H 28	0.99558	0.98912	0.98817	91.3	7.903	5.9	1.5	1.5	8.8	6.9	-0.44	-0.08	0.05	-0.47	-0.37	-0.32	-0.25	8.0	6.3	8.0	6.3	6.3	6.3
26年目	H 29	0.99556	0.98900	0.98802	91.3	7.599	5.8	1.5	1.4	8.7	6.6	-0.44	-0.08	0.05	-0.47	-0.36	-0.32	-0.24	7.9	6.0	7.9	6.0	6.0	6.0
27年目	H 30	0.99554	0.98887	0.98788	91.3	7.307	5.8	1.4	1.4	8.7	6.3	-0.44	-0.07	0.04	-0.47	-0.34	-0.32	-0.23	7.9	5.8	7.9	5.8	5.8	5.8
28年目	H 31	0.99552	0.98875	0.98773	91.3	7.026	5.8	1.4	1.4	8.6	6.0	-0.43	-0.07	0.04	-0.46	-0.33	-0.32	-0.22	7.8	5.5	7.8	5.5	5.5	5.5
29年目	H 32	0.99550	0.98862	0.98759	91.3	6.756	5.8	1.4	1.4	8.6	5.8	-0.43	-0.07	0.04	-0.46	-0.31	-0.31	-0.21	7.8	5.3	7.8	5.3	5.3	5.3
30年目	H 33	0.99548	0.98850	0.98746	91.3	6.496	5.7	1.4	1.4	8.5	5.5	-0.43	-0.07	0.04	-0.46	-0.30	-0.31	-0.20	7.7	5.0	7.7	5.0	5.0	5.0
31年目	H 34	0.99546	0.98837	0.98732	91.3	6.246	5.7	1.4	1.4	8.5	5.3	-0.43	-0.07	0.04	-0.46	-0.29	-0.31	-0.19	7.7	4.8	7.7	4.8	4.8	4.8
32年目	H 35	0.99544	0.98824	0.98719	91.3	6.006	5.7	1.4	1.4	8.4	5.1	-0.43	-0.07	0.04	-0.46	-0.27	-0.31	-0.18	7.6	4.6	7.6	4.6	4.6	4.6
33年目	H 36	0.99542	0.98811	0.98706	91.3	5.775	5.7	1.4	1.3	8.4	4.8	-0.43	-0.07	0.04	-0.45	-0.26	-0.31	-0.18	7.6	4.4	7.6	4.4	4.4	4.4
34年目	H 37	0.99540	0.98800	0.98695	91.3	5.553	5.7	1.3	1.3	8.3	4.6	-0.42	-0.07	0.04	-0.45	-0.25	-0.31	-0.17	7.6	4.2	7.6	4.2	4.2	4.2
35年目	H 38	0.99538	0.98790	0.98685	91.3	5.339	5.6	1.3	1.3	8.3	4.4	-0.42	-0.07	0.04	-0.45	-0.24	-0.30	-0.16	7.5	4.0	7.5	4.0	4.0	4.0
36年目	H 39	0.99536	0.98780	0.98675	91.3	5.134	5.6	1.3	1.3	8.2	4.2	-0.42	-0.07	0.04	-0.45	-0.23	-0.30	-0.16	7.5	3.8	7.5	3.8	3.8	3.8
37年目	H 40	0.99534	0.98770	0.98665	91.3	4.936	5.6	1.3	1.3	8.2	4.0	-0.42	-0.07	0.04	-0.45	-0.22	-0.30	-0.15	7.4	3.7	7.4	3.7	3.7	3.7
38年目	H 41	0.99532	0.98760	0.98655	91.3	4.746	5.6	1.3	1.3	8.1	3.9	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.21	-0.30	-0.14	7.4	3.5	7.4	3.5	3.5	3.5
39年目	H 42	0.99530	0.98750	0.98645	91.3	4.564	4.5	1.3	1.3	8.1	3.7	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.20	-0.30	-0.14	7.4	3.3	7.4	3.3	3.3	3.3
40年目	H 43	0.99528	0.98740	0.98635	91.3	4.388	4.5	1.3	1.3	8.0	3.6	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.19	-0.30	-0.14	7.4	3.1	7.4	3.1	3.1	3.1
41年目	H 44	0.99526	0.98730	0.98625	91.3	4.220	4.4	1.3	1.3	8.0	3.5	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.18	-0.30	-0.14	7.4	2.9	7.4	2.9	2.9	2.9
42年目	H 45	0.99524	0.98720	0.98615	91.3	4.057	4.4	1.3	1.3	7.9	3.4	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.17	-0.30	-0.14	7.4	2.7	7.4	2.7	2.7	2.7
43年目	H 46	0.99522	0.98710	0.98605	91.3	3.901	4.3	1.3	1.3	7.9	3.3	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.16	-0.30	-0.14	7.4	2.5	7.4	2.5	2.5	2.5
44年目	H 47	0.99520	0.98700	0.98600	91.3	3.751	4.3	1.3	1.3	7.8	3.2	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.15	-0.30	-0.14	7.4	2.3	7.4	2.3	2.3	2.3
45年目	H 48	0.99518	0.98690	0.98590	91.3	3.607	4.2	1.3	1.3	7.8	3.1	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.14	-0.30	-0.14	7.4	2.1	7.4	2.1	2.1	2.1
46年目	H 49	0.99516	0.98680	0.98580	91.3	3.468	4.2	1.3	1.3	7.7	3.0	-0.42	-0.07	0.04	-0.44	-0.13	-0.30	-0.14	7.4	2.0	7.4	2.0	2.0	2.0
47年目	H 50	0.99514	0.98670	0.9																				

箇所名: 国道225号 川辺改良(築事業)

便益の現在価値算定表

年次 (年度)	H22 (基準年)	総走行台車の年次別伸び率 (南九州7ブロック)			GDP デフレーター	走行時間短縮便益(億円)				走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)			合計 (億円)				
		乗用車種	小型貨物	普通貨物		全車種	乗用車種	小型貨物	普通貨物	計	①×(A)	乗用車種	小型貨物	普通貨物	計	②	③	現在価値 (A)×②	現在価値 (B)×③	現在価値 (C)×(A+B+C)	割引率4%
供用開始年次	H 24	0.99566	0.99577	0.99372	0.99372	0.9246	1.2	0.33	0.39	1.9	1.7	0.15	0.04	0.11	0.29	0.27	0.27	-0.01	-0.01	2.2	2.0
1年目	H 25	0.99564	0.99346	0.98857	0.98857	0.8890	1.2	0.32	0.39	1.9	1.7	0.15	0.04	0.10	0.29	0.25	0.25	-0.01	-0.01	2.2	1.9
2年目	H 26	0.99562	0.98935	0.98844	0.98844	0.8548	1.2	0.32	0.38	1.9	1.6	0.15	0.04	0.10	0.29	0.25	0.25	-0.01	-0.01	2.1	1.8
3年目	H 27	0.99560	0.9823	0.98360	0.98360	0.8219	1.2	0.32	0.38	1.8	1.5	0.15	0.04	0.10	0.29	0.24	0.24	-0.01	-0.01	2.1	1.7
4年目	H 28	0.99558	0.98912	0.98817	0.98817	0.7903	1.1	0.31	0.37	1.8	1.5	0.15	0.04	0.10	0.28	0.22	0.22	-0.01	-0.01	2.1	1.7
5年目	H 29	0.99556	0.98900	0.98802	0.98802	0.7599	1.1	0.31	0.37	1.8	1.4	0.14	0.04	0.10	0.28	0.21	0.21	-0.01	-0.01	2.1	1.6
6年目	H 30	0.99554	0.98887	0.98788	0.98788	0.7307	1.1	0.31	0.37	1.8	1.3	0.14	0.04	0.10	0.28	0.20	0.20	-0.01	-0.01	2.1	1.5
7年目	H 31	0.99552	0.98875	0.98773	0.98773	0.7026	1.1	0.30	0.36	1.8	1.3	0.14	0.04	0.10	0.27	0.19	0.19	-0.01	-0.01	2.1	1.4
8年目	H 32	0.99550	0.98975	0.99147	0.99147	0.6756	1.1	0.30	0.36	1.8	1.2	0.14	0.04	0.10	0.27	0.19	0.19	-0.01	-0.01	2.0	1.4
9年目	H 33	0.99548	0.98964	0.99140	0.99140	0.6496	1.1	0.30	0.35	1.8	1.2	0.14	0.04	0.09	0.27	0.18	0.18	-0.01	-0.01	2.0	1.3
10年目	H 34	0.99546	0.98953	0.99132	0.99132	0.6246	1.1	0.29	0.35	1.8	1.1	0.14	0.04	0.09	0.27	0.17	0.17	-0.01	-0.01	2.0	1.3
11年目	H 35	0.99544	0.98942	0.99125	0.99125	0.6006	1.1	0.29	0.35	1.8	1.1	0.14	0.04	0.09	0.27	0.16	0.16	-0.01	-0.01	2.0	1.2
12年目	H 36	0.99542	0.98931	0.99117	0.99117	0.5775	1.1	0.29	0.34	1.7	1.0	0.14	0.04	0.09	0.27	0.15	0.15	-0.01	-0.01	2.0	1.2
13年目	H 37	0.99540	0.98919	0.99109	0.99109	0.5553	1.1	0.28	0.34	1.7	1.0	0.14	0.04	0.09	0.27	0.15	0.15	-0.01	-0.01	2.0	1.1
14年目	H 38	0.99538	0.98908	0.99101	0.99101	0.5339	1.1	0.28	0.34	1.7	0.92	0.14	0.03	0.09	0.26	0.14	0.14	-0.01	-0.01	2.0	1.1
15年目	H 39	0.99536	0.98895	0.99093	0.99093	0.5134	1.1	0.28	0.34	1.7	0.88	0.14	0.03	0.09	0.26	0.14	0.14	-0.01	-0.01	2.0	1.0
16年目	H 40	0.99534	0.98883	0.99085	0.99085	0.4936	1.1	0.27	0.33	1.7	0.84	0.14	0.03	0.09	0.26	0.13	0.13	-0.01	-0.01	2.0	1.0
17年目	H 41	0.99532	0.98871	0.99076	0.99076	0.4746	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
18年目	H 42	0.99530	0.98859	0.99068	0.99068	0.4564	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
19年目	H 43	0.99528	0.98849	0.99062	0.99062	0.4388	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
20年目	H 44	0.99526	0.98838	0.99052	0.99052	0.4220	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
21年目	H 45	0.99524	0.98827	0.99045	0.99045	0.4057	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
22年目	H 46	0.99522	0.98816	0.99038	0.99038	0.3901	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
23年目	H 47	0.99520	0.98805	0.99031	0.99031	0.3751	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
24年目	H 48	0.99518	0.98794	0.99024	0.99024	0.3607	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
25年目	H 49	0.99516	0.98783	0.99017	0.99017	0.3468	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
26年目	H 50	0.99514	0.98772	0.99009	0.99009	0.3335	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
27年目	H 51	0.99512	0.98761	0.99001	0.99001	0.3207	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
28年目	H 52	0.99510	0.98750	0.98993	0.98993	0.3083	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
29年目	H 53	0.99508	0.98739	0.98985	0.98985	0.2965	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
30年目	H 54	0.99506	0.98728	0.98977	0.98977	0.2851	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
31年目	H 55	0.99504	0.98717	0.98968	0.98968	0.2741	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
32年目	H 56	0.99502	0.98706	0.98959	0.98959	0.2636	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
33年目	H 57	0.99500	0.98695	0.98950	0.98950	0.2534	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
34年目	H 58	0.99498	0.98684	0.98941	0.98941	0.2437	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
35年目	H 59	0.99496	0.98673	0.98932	0.98932	0.2343	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
36年目	H 60	0.99494	0.98662	0.98923	0.98923	0.2253	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
37年目	H 61	0.99492	0.98651	0.98914	0.98914	0.2166	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
38年目	H 62	0.99490	0.98640	0.98905	0.98905	0.2083	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
39年目	H 63	0.99488	0.98629	0.98896	0.98896	0.2003	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
40年目	H 64	0.99486	0.98618	0.98887	0.98887	0.1926	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
41年目	H 65	0.99484	0.98607	0.98878	0.98878	0.1852	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
42年目	H 66	0.99482	0.98596	0.98869	0.98869	0.1780	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
43年目	H 67	0.99480	0.98585	0.98860	0.98860	0.1712	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
44年目	H 68	0.99478	0.98574	0.98851	0.98851	0.1646	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
45年目	H 69	0.99476	0.98563	0.98842	0.98842	0.1583	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
46年目	H 70	0.99474	0.98552	0.98833	0.98833	0.1522	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
47年目	H 71	0.99472	0.98541	0.98824	0.98824	0.1463	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
48年目	H 72	0.99470	0.98530	0.98815	0.98815	0.1407	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
49年目	H 73	0.99468	0.98519	0.98806	0.98806	0.1353	1.1	0.27	0.33	1.7	0.80	0.14	0.03	0.09	0.26	0.12	0.12	-0.01	-0.01	1.9	0.92
合計							29	6.9	6.7	42	29	1.8	0.64	1.3	3.8	3.1	-0.59	-0.23	46	2.8	

全体事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道225号	川辺改良	2	8.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				11,746	
	改良費				3,180	
		土工	m ³	1,348,084	706	切土、盛土、捨土
		軟弱地盤改良工	m ³	—	—	
		法面工	m ²	244,309	1,202	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	359	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m	826	95	
		函渠工	m	—	—	
		排水工	m	7,485	513	管渠型側溝、PU等
		中央分離帯工	m	—	—	
		雑工	式	1	305	
	橋梁費				2,456	
		100m以上	m	250	1,338	鋼3径間連続鉄桁橋
		100m未満	m	243	1,118	単純鋼床版箱桁橋、鋼3径間連続鉄桁橋等
	トンネル費				3,879	
		NATM	m	390	3,879	1本(上下線)
		シールド	m	—	—	
	IC・JCT費					
		IC	箇所	—	—	
		JCT	箇所	—	—	
	舗装費				1,932	
		車道舗装	m ²	395,306	1,849	
		歩道舗装	m ²	33,861	83	
	付帯施設費				300	
		交通管理施設工	式	1	300	標識工、防護柵工、等
		遮音壁	m	—	—	
②	用地及補償費				671	
	用地費		m ²		601	
		宅地	m ²	—	—	
		田畑	m ²	—	—	
		山林・原野	m ²	73,700	601	
		その他	m ²	—	—	
	補償費		式	1	70	
③	間接経費		式	1	2,173	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
	全体事業費				14,590	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

残事業費内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道225号	川辺改良	2	8.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
①工事費					411			
改良費					97			
土工					m3	—		
軟弱地盤改良工					m3	—		
法面工					㎡	—		
擁壁工					式	—		
管渠工					m	—		
函渠工					m	—		
排水工					m	3,946	管渠型側溝、PU等	
中央分離帯工					m	—		
雑工					式	1	24	
橋梁費					220			
100m以上					m	—		
100m未満					m	75	単純鋼床版箱桁橋	
トンネル費								
NATM					m	—		
シールド					m	—		
IC・JCT費								
IC					箇所	—		
JCT					箇所	—		
舗装費					78			
車道舗装					㎡	11,400	68	
歩道舗装					㎡	2,300	10	
付帯施設費					17			
交通管理施設工					式	1	17	標識工、防護柵工等
遮音壁					m	—		
②用地及補償費					5			
用地費					㎡	—		
宅地					㎡	—		
田畑					㎡	—		
山林・原野					㎡	—		
その他					㎡	—		
補償費					式	1	5	
③間接経費					式	—	19	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
全体事業費						435		

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道225号	川辺改良	2	5.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	5.9	720	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,689	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			3,408	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業における維持管理費の内訳

路線名	箇所名	車線数	延長
国道225号	川辺改良	2	1.2km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.2	200	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	700	路面補修、構造物の点検・補修等
維持管理費合計			900	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。